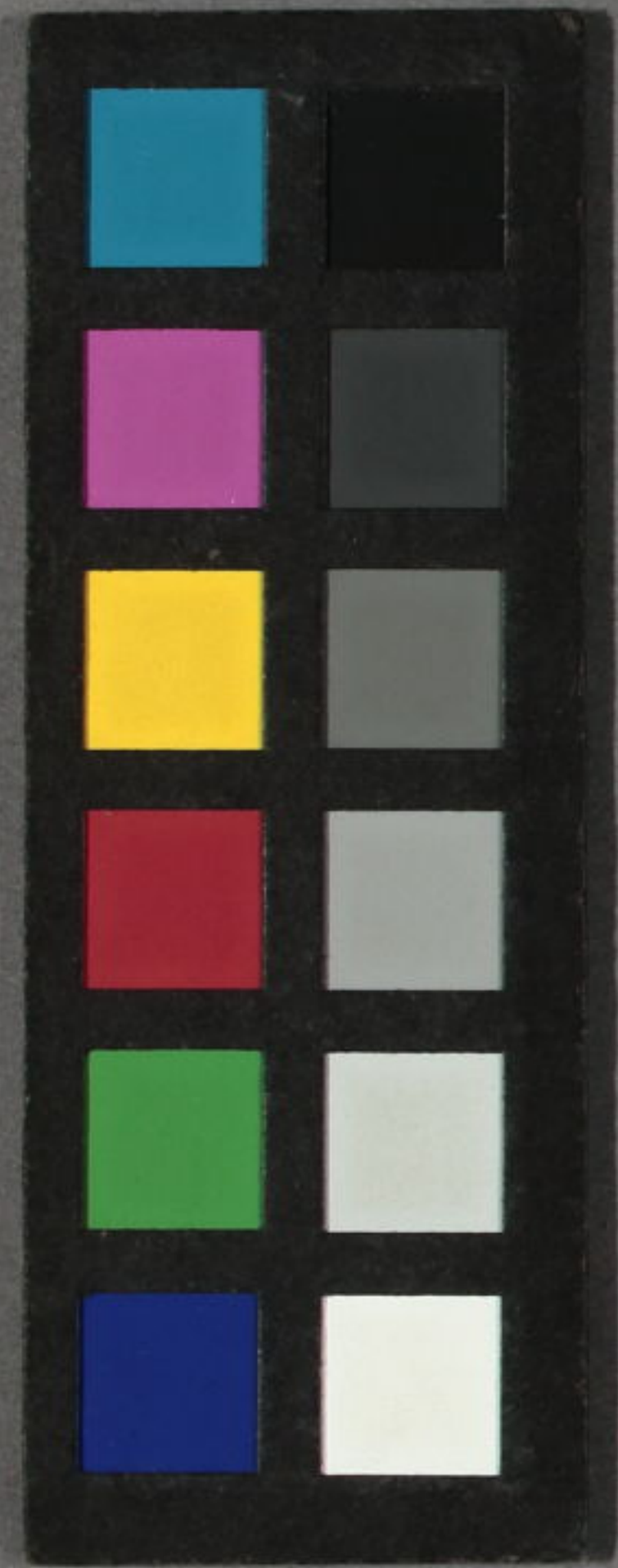


不知火物語

^ 13
3162
30





孫

孫

五十八編上

門へ 13
3162
30

昭和九年
十月二日
附末

芳
貴
画
作

物
か
了



戊辰甚

白
縫
譚

五
十
八
篇

上
集

種
彦
作

芳
幾
画

菊
壽

文
庫



一
文
齋
幾
九
学

若くは

五十八海

下集

終ひ

きん

姿



若菜姫

極樂至て嬉あはぶら女を无きて始はらし仙を享まびて長あ壽きもと霞が酒のい
 酔よれば細こ川の政ま元の左さ道みをと修しむと男の色を欲くむに忍しのぶに由よ若わ菜な姫の
 奇あ術じゆも男の構ハ破きし己の對たい偶ぐ夫の後の光の撒さけと
 真ま婦の腹の佳よ婿を扱あむに彼の術をほろせし佛の後の光の撒さけと
 様の信を減へんに桃を待まねし西の王の母の姐の揚の貴の妃の吉の祥の天の中の役の者の役の者の
 附のるに土の用の芝の居のあらはらはらこと相の鴨の間の狂の言のもこまいのね
 舞の頃の其の小の鴨のあらはらはらこと相の鴨の間の狂の言のもこまいのね
 更と更と世の界のに愕きなまします

慶應三新刊

柳亭種彦記

あはらむ八五十八

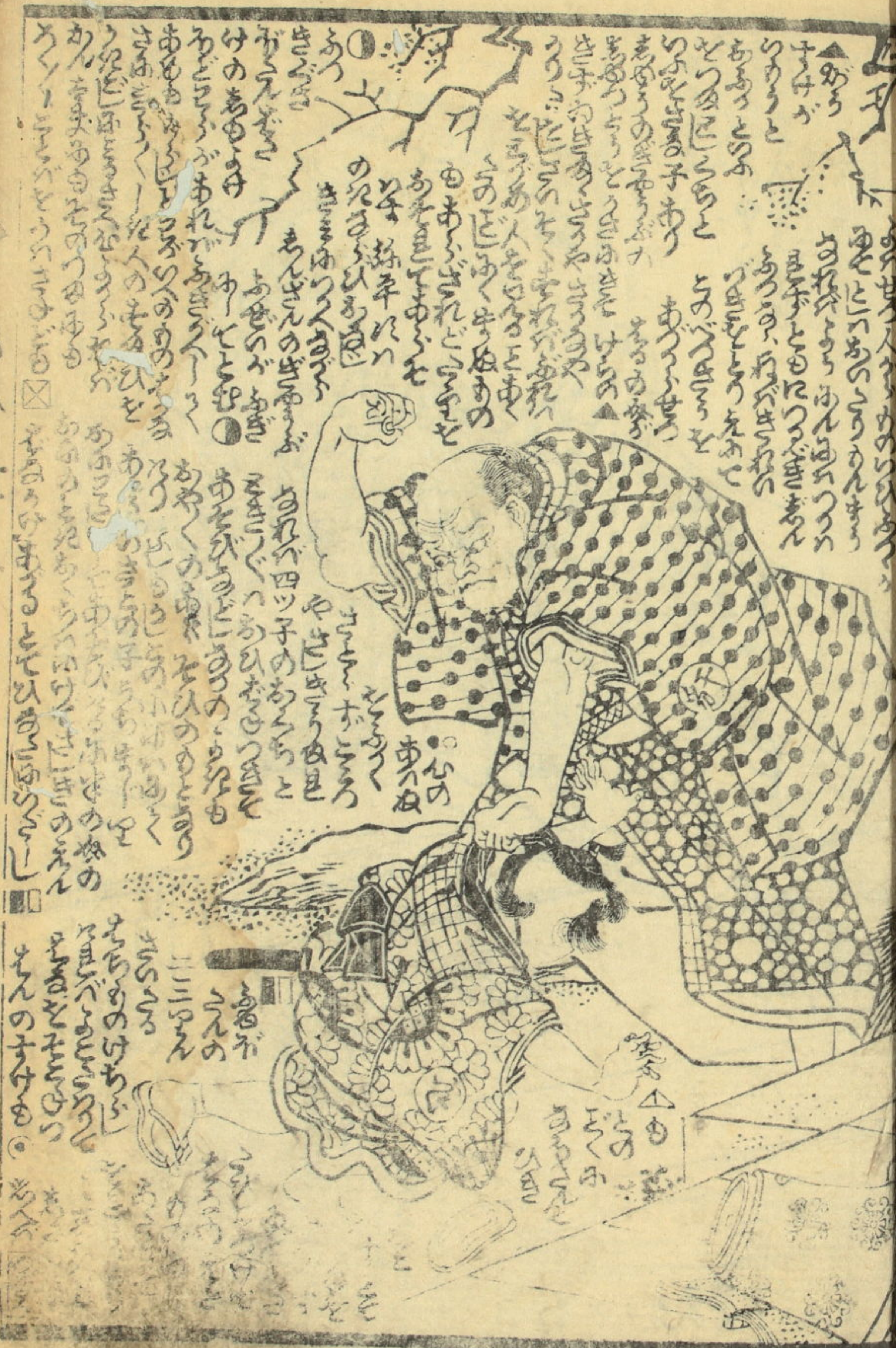
卷之八十八

九
聯
兒



稚
菜
姬



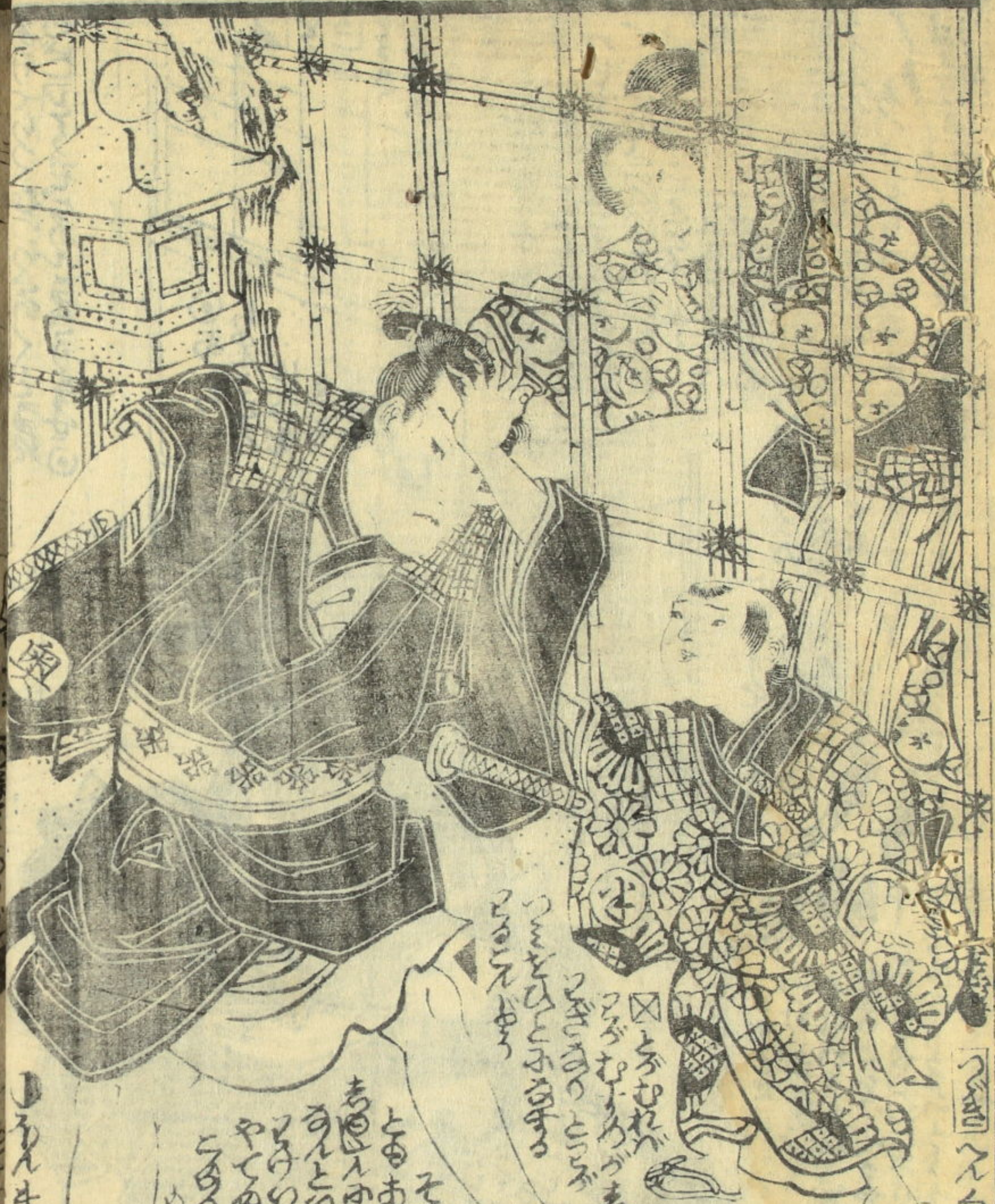




五十一

Handwritten text in vertical columns on the left side of the illustration.

Large block of handwritten text at the bottom of the left page.



五十二

Large block of handwritten text at the bottom of the right page.

Handwritten text at the top of the left page, possibly a chapter or section title.

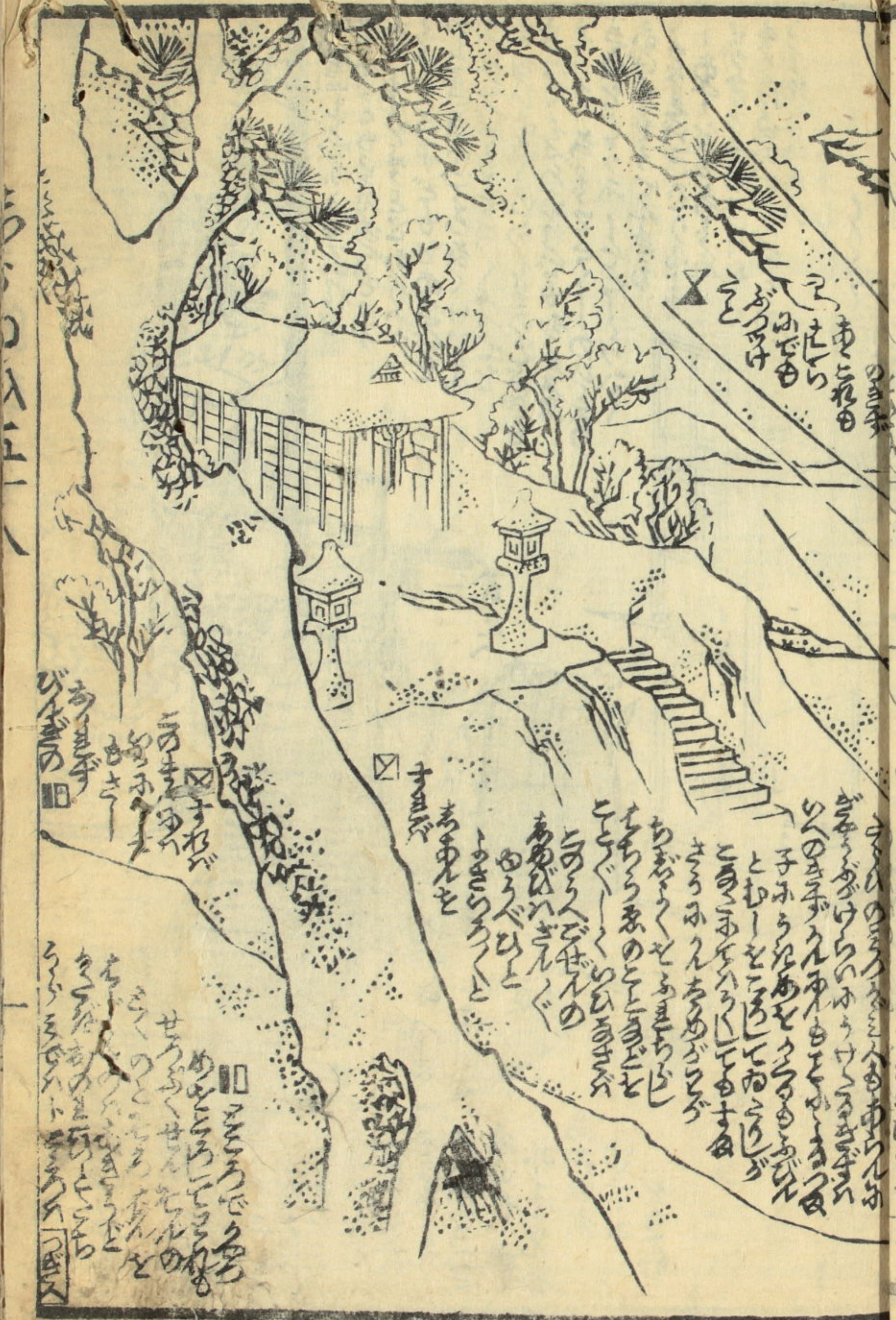


Vertical handwritten text on the left page, likely a commentary or dialogue related to the illustration.

Handwritten text at the top of the right page, possibly a chapter or section title.



Vertical handwritten text on the right page, likely a commentary or dialogue related to the illustration.



山崎の山崎 (Yamazaki no Yamazaki)

山崎の山崎 (Yamazaki no Yamazaki)

山崎の山崎 (Yamazaki no Yamazaki)

山崎の山崎 (Yamazaki no Yamazaki)

山崎の山崎 (Yamazaki no Yamazaki)



山崎の山崎 (Yamazaki no Yamazaki)

山崎の山崎 (Yamazaki no Yamazaki)

山崎の山崎 (Yamazaki no Yamazaki)

山崎の山崎 (Yamazaki no Yamazaki)



さのちひあり
 あくゆんりつゆ
 つごのひあふあ
 ちごのひあふあ
 あふあふあふあ
 とのぜんあま
 りぬしめあま
 あくせす
 ひのあま
 あふあふあ
 まりあ
 ころあ
 あこの

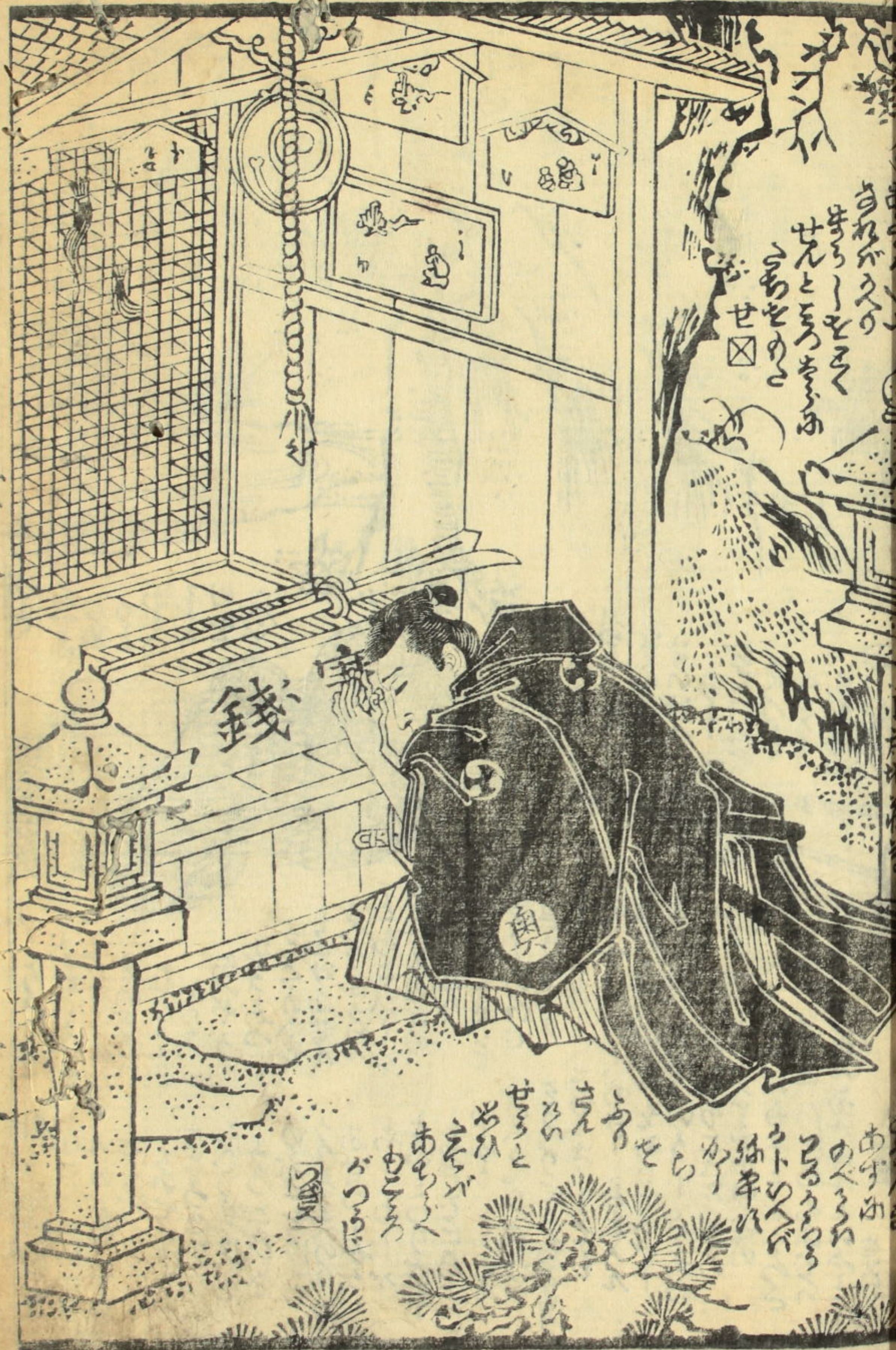
まく
 ほんのあ
 か
 かん

天ふあふのあめくせあり
 主死しち小老少勢不定
 あふあふのあふあふ
 あふあふのあふあふ
 さのちひあり
 あくゆんりつゆ
 つごのひあふあ
 ちごのひあふあ
 あふあふあふあ
 とのぜんあま
 りぬしめあま
 あくせす
 ひのあま
 あふあふあ
 まりあ
 ころあ
 あこの

まく
 ほんのあ
 か
 かん



種彦作
芳樂畫
 孫平
 のねさる
 まふひそ
 くれ
 あま
 さふ
 まふ
 くれ
 まふ
 くれ
 まふ
 くれ



あつり入下

あつり入下
 せとてきり
 せ

あつり入下
 せとてきり
 せ



あつり入下
 せとてきり
 せ

あつり入下
 せとてきり
 せ

あつり入下
 せとてきり
 せ



人五十八

まづて
 かやトの
 ちとせの
 ちとせの
 ちとせの
 ちとせの
 ちとせの
 ちとせの
 ちとせの

か
 う
 へ
 へ
 へ
 へ
 へ
 へ

あ
 ん
 ち
 ち
 ち
 ち
 ち
 ち

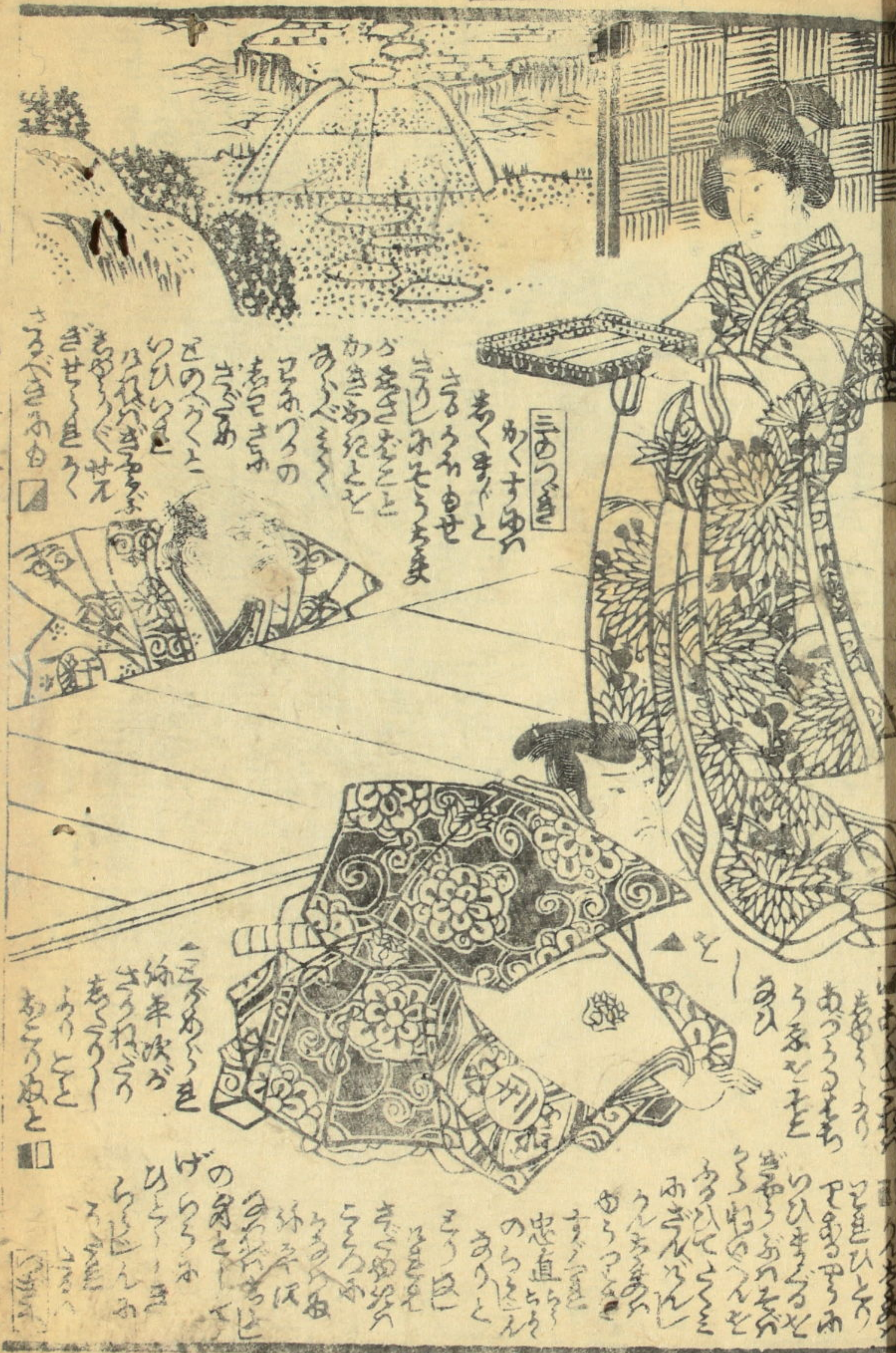
あ
 さ
 ち
 ち
 ち
 ち
 ち
 ち



ま
 ち
 ち
 ち
 ち
 ち
 ち
 ち

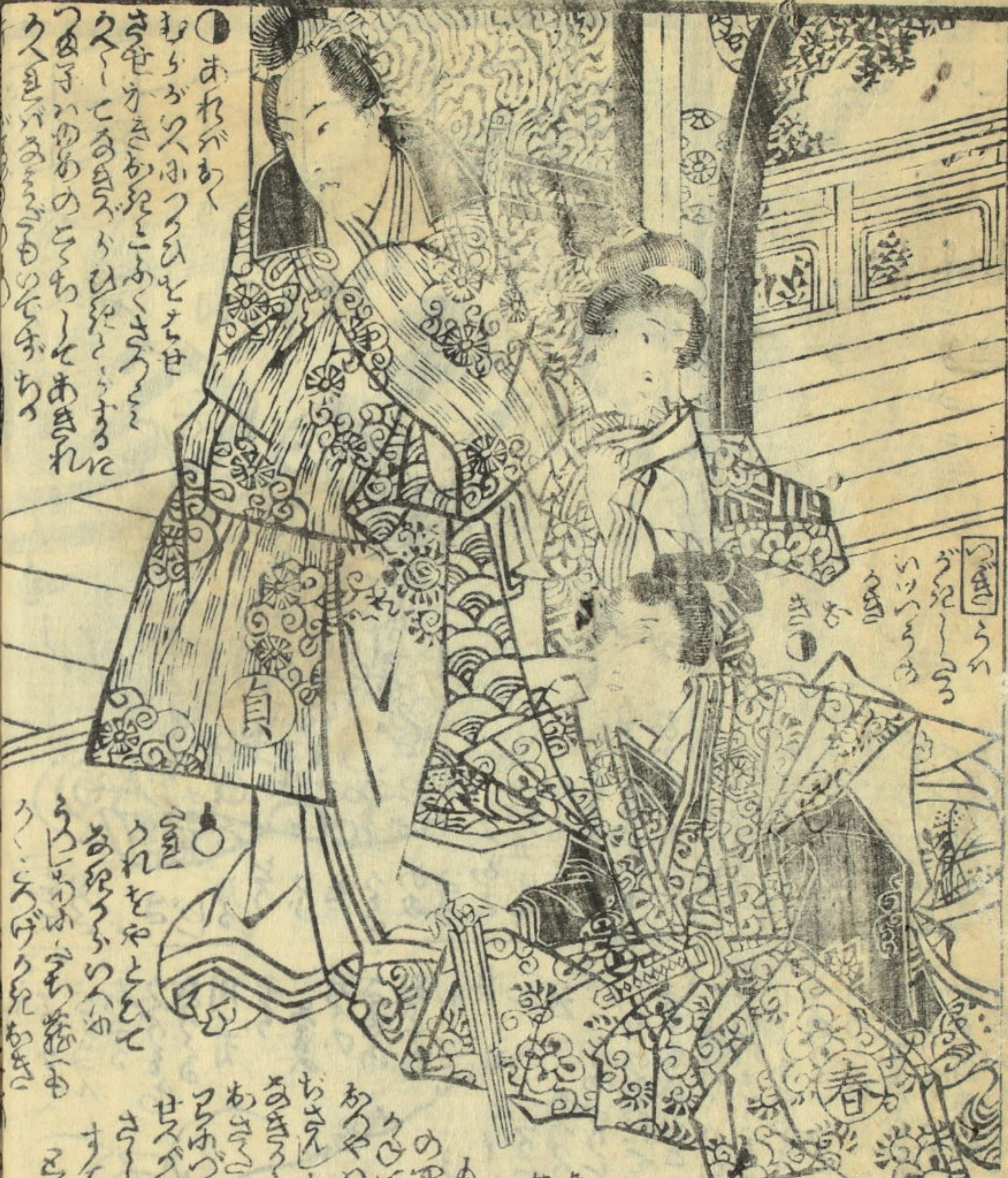
あ
 ん
 ち
 ち
 ち
 ち
 ち
 ち

あ
 ん
 ち
 ち
 ち
 ち
 ち
 ち



三浦の女
あくとつと
あくとつと
あくとつと
あくとつと
あくとつと
あくとつと
あくとつと

あくとつと
あくとつと
あくとつと
あくとつと
あくとつと
あくとつと
あくとつと
あくとつと



おれがわ
あくとつと
あくとつと
あくとつと
あくとつと
あくとつと
あくとつと
あくとつと

あくとつと
あくとつと
あくとつと
あくとつと
あくとつと
あくとつと
あくとつと
あくとつと

十五

十五

入五十一



三ひいあひつち
さきかあるか
あつりの子さき

あつりの子さき
あつりの子さき

あつりの子さき
あつりの子さき

あつりの子さき
あつりの子さき
あつりの子さき
あつりの子さき

十七

あつりの子さき
あつりの子さき



あつりの子さき
あつりの子さき
あつりの子さき
あつりの子さき

○てあやの
あひとつと
おちがさ
あつのも
せふめ
ろつど

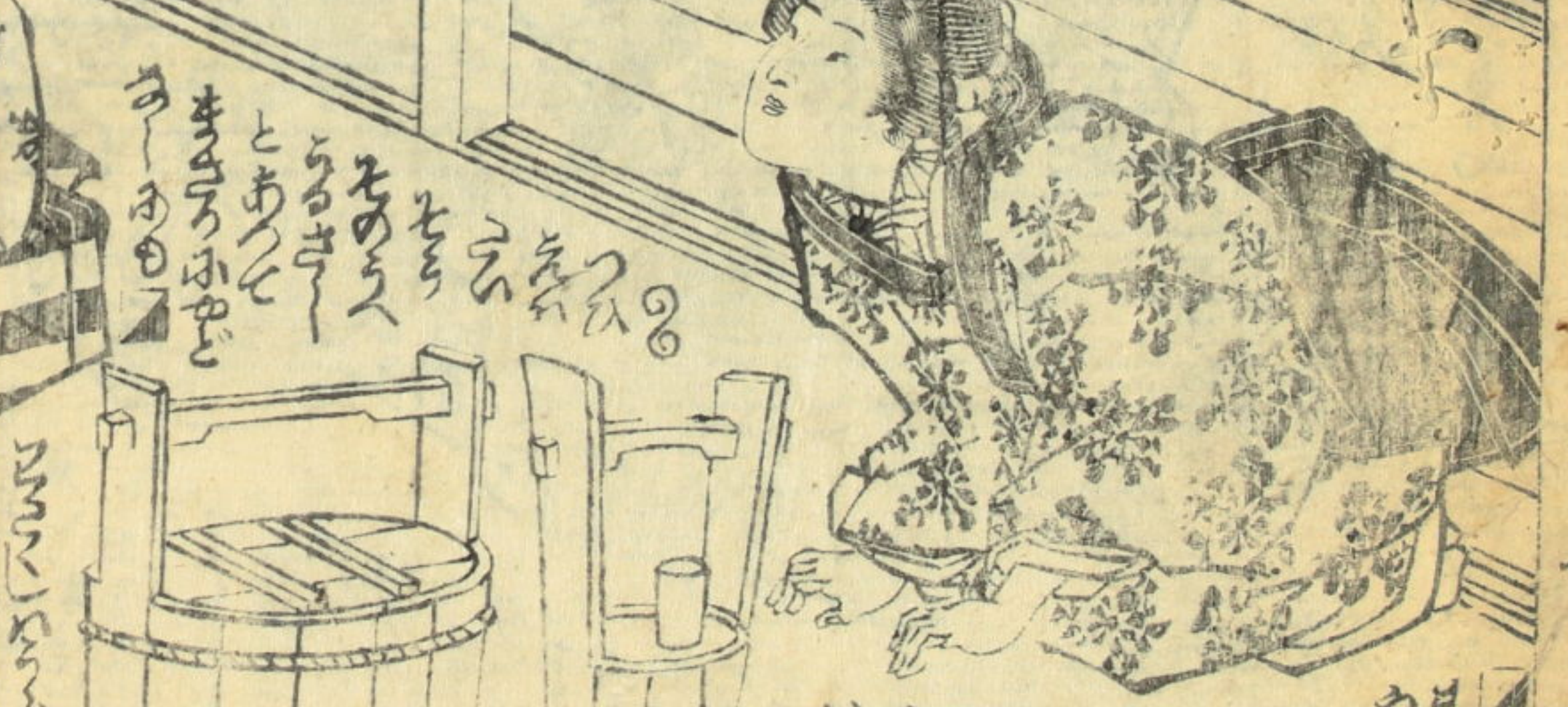


てあやのあひとつと
おちがさあつのも
せふめろつど

○てあやの
あひとつと
おちがさ
あつのも
せふめ
ろつど

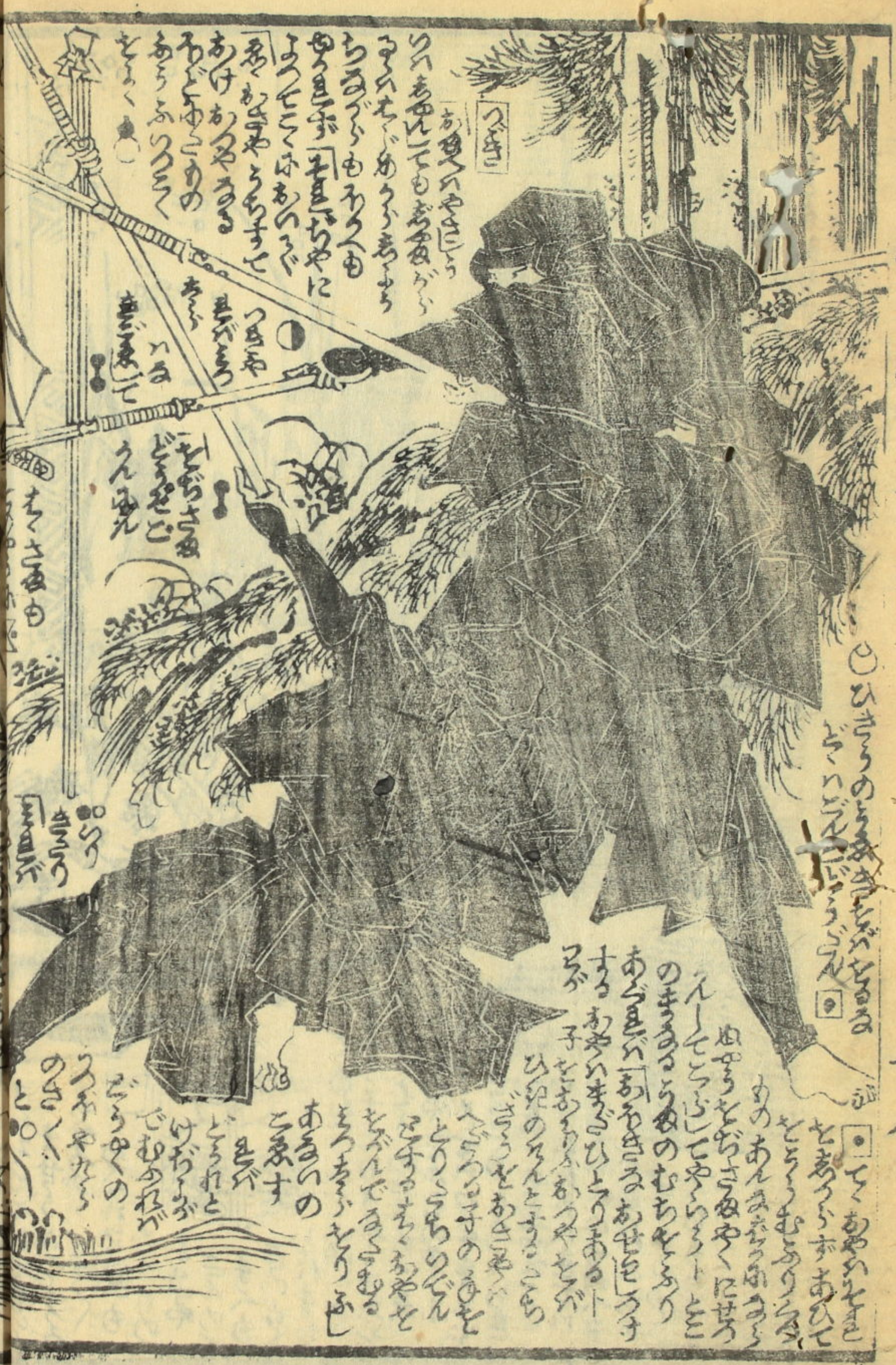


つぎあ
のあやの
むすめ
あひとつと
おちがさ
あつのも
せふめ
ろつど



あやの
あひとつと
おちがさ
あつのも
せふめ
ろつど

人五十一

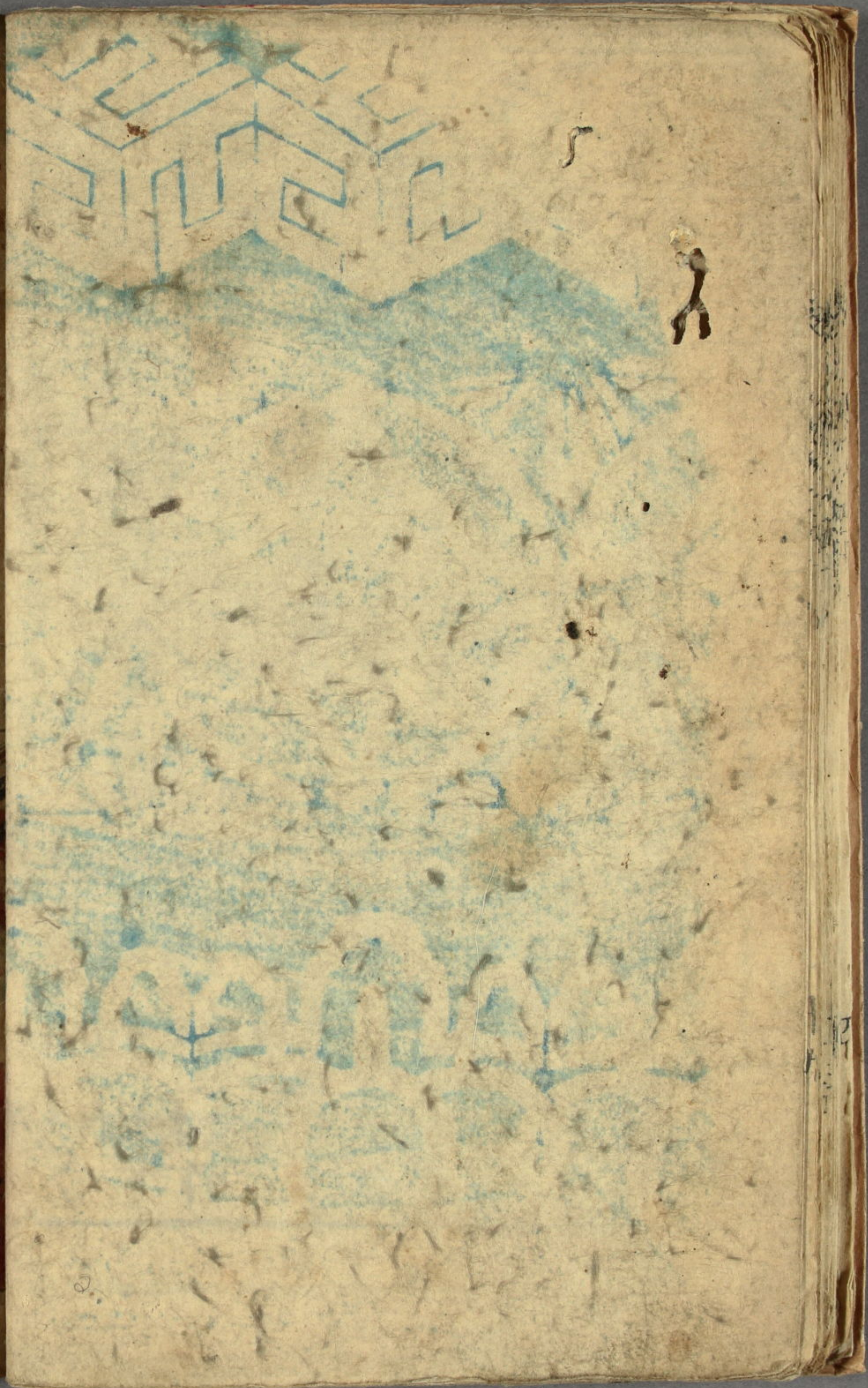




物
心
事

名
物

五
十



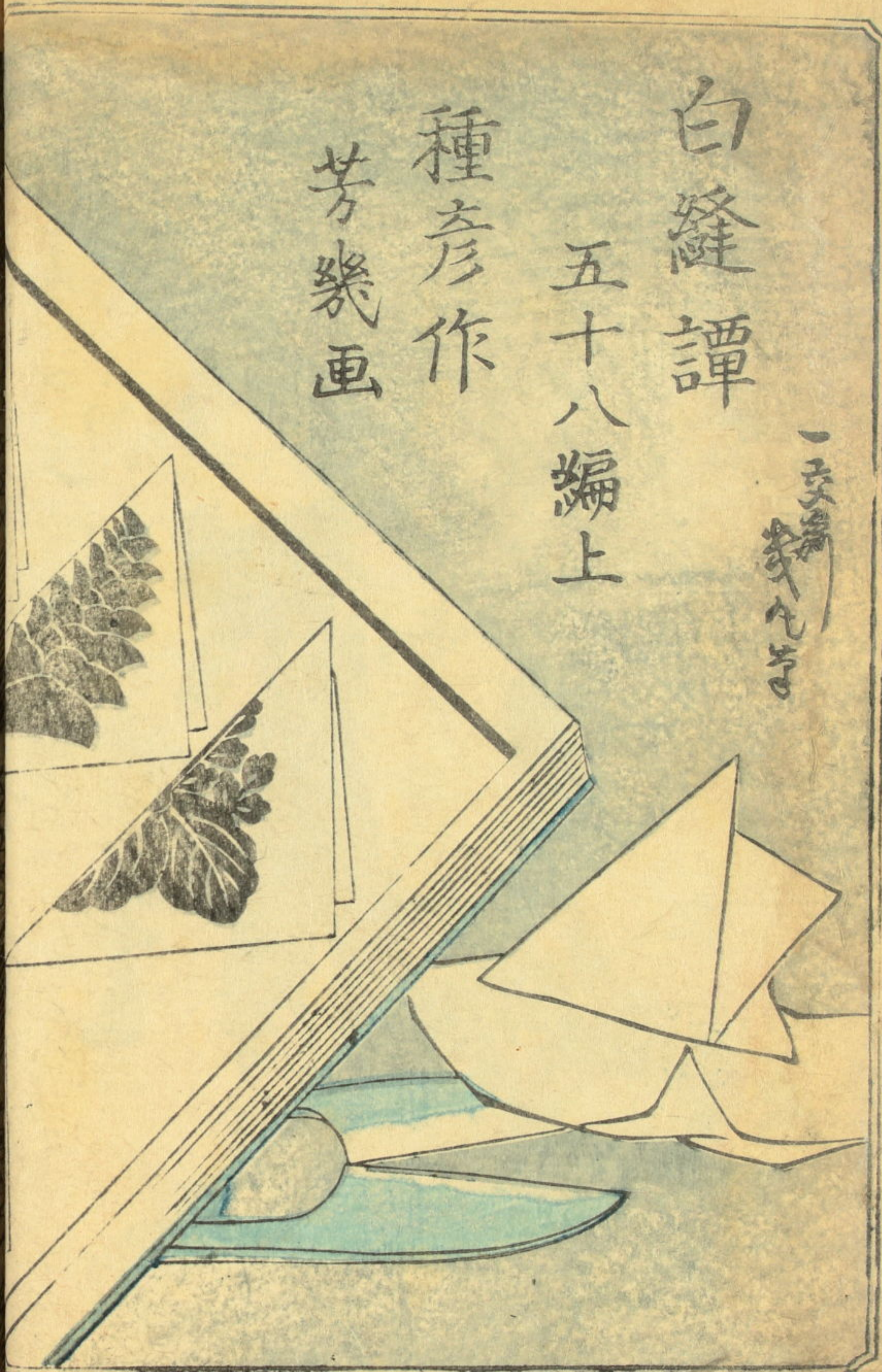
白縫譚

五十八編上

種彦作

芳樂画

一丈編
芳樂画



作者の腹を探るに
 草四郎は先例あれど
 主として此客として一個の
 仙を出し若菜姫と
 男女の豪傑甲乙
 せむとあるべし然るに姫が行
 状は父の仇を復さんと孝心
 の餘りありしや四海をも平吞の志憑む
 慶小術の過望む処大欲を過るりと
 信義を守りて奸智は春之助をも亦親の
 成得ざりし宿意を継本懐を遂んとせむ

若菜姫



種彦作

其小賞よき少年なれど

其色を衒ひ

愚を惑つ

愚をくすけ

愚を施せ

報をよむ

妙けらる

其器廣くは野謂

小刀細工の風あり

人の正直なるもの

此草紙を

君

乙卯年三月



青柳春之介

甲乙の評ちや

聞えりわけては故人の本意さ

んと五十篇の七草官の幽契を遺せしが

猶不安心のころをわが今一段の力を

着んと称号をうのみ七草の呪

唐土の鳥を退治して不凶奇宝を

護るる話を終んとて且

口画の披露をさて此巻の

おぼさるハ並長者の傳

にて艶あはげ劇

ど平穩なてあがま

めこの子バさんく拍子ハ口画の

芥よめぐりて真のとはあらま

若菜姫を
愛敬し春之助
と慕ひるる

ハだ▲



鬼車鳥

うらぶらぶのうらぶらぶのうらぶらぶ
トモナハのうらぶらぶのうらぶらぶ

明治二己巳
春正月人日

種彦書

鶴鶴又姑護

又夜遊女

乙卯年三月

二



山入りのあけ
 らるるるるる
 山入りのあけ
 らるるるるる
 山入りのあけ
 らるるるるる

山入りのあけ
 らるるるるる
 山入りのあけ
 らるるるるる
 山入りのあけ
 らるるるるる



山入りのあけ
 らるるるるる
 山入りのあけ
 らるるるるる
 山入りのあけ
 らるるるるる

山入りのあけ
 らるるるるる
 山入りのあけ
 らるるるるる
 山入りのあけ
 らるるるるる



あつきの
おつひ
おつひ

あつきの
おつひ
おつひ
あつきの
おつひ
おつひ
あつきの
おつひ
おつひ
あつきの
おつひ
おつひ



あつきの
おつひ
おつひ
あつきの
おつひ
おつひ

あつきの
おつひ
おつひ
あつきの
おつひ
おつひ
あつきの
おつひ
おつひ
あつきの
おつひ
おつひ



○配札の柄を...
あつちの柄を五十六...
このあつちの柄を...
あつちの柄を...
あつちの柄を...
あつちの柄を...
あつちの柄を...
あつちの柄を...
あつちの柄を...
あつちの柄を...
あつちの柄を...
あつちの柄を...

鍾彦作 芳幾重

赤いぬいしん

五十編の柳 幸種彦作
六十編の一 惠齋芳幾重

両面織花田物語

初編同
五編同

作

假名湊八大傳

三十編の假名垣 善文録
三十五編の朝霞樓 芳幾重

古今 似顔大全

故豊國公材筆
天錦 白二番續

太平記英勇傳

中 錦山々亭有人記
百番續 惠齋芳幾重圖

種彦作

芳哉画

三少老新刊

菊壽堂梓



下篇九十五







○ 三年の
此通り
三年の
此通り
三年の
此通り

○ 小次郎の
おぼつか
りそめい
りそめい

○ 小次郎の
おぼつか
りそめい
りそめい

○ 十六
十六
十六
十六

○ 十六
十六
十六
十六

○ 十六
十六
十六
十六

○ 十六
十六
十六
十六



○ 十六
十六
十六
十六

○ 十六
十六
十六
十六

○ 十六
十六
十六
十六

○ 十六
十六
十六
十六

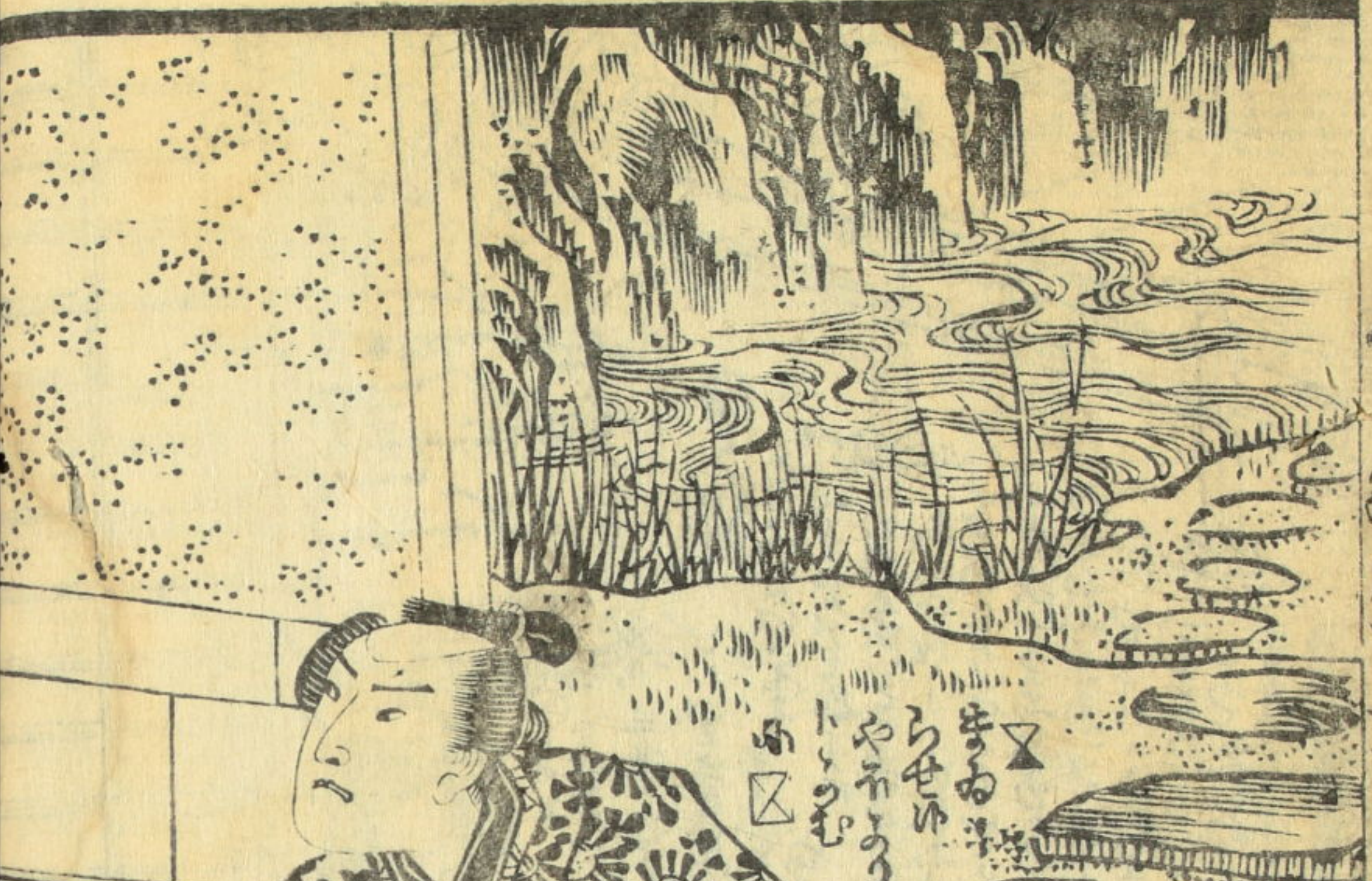
○ 十六
十六
十六
十六

○ 十六
十六
十六
十六



人五二

豊
久世のつらみ
あつらふも
たれぬと
いふも
あつらふも
たれぬと
いふも
あつらふも
たれぬと
いふも
あつらふも
たれぬと
いふも
あつらふも
たれぬと
いふも



あつらふも
たれぬと
いふも
あつらふも
たれぬと
いふも
あつらふも
たれぬと
いふも
あつらふも
たれぬと
いふも
あつらふも
たれぬと
いふも
あつらふも
たれぬと
いふも



あまの月一がそらにまはりの

●七九節ハ

※

あまの月一がそらにまはりの
あまの月一がそらにまはりの
あまの月一がそらにまはりの

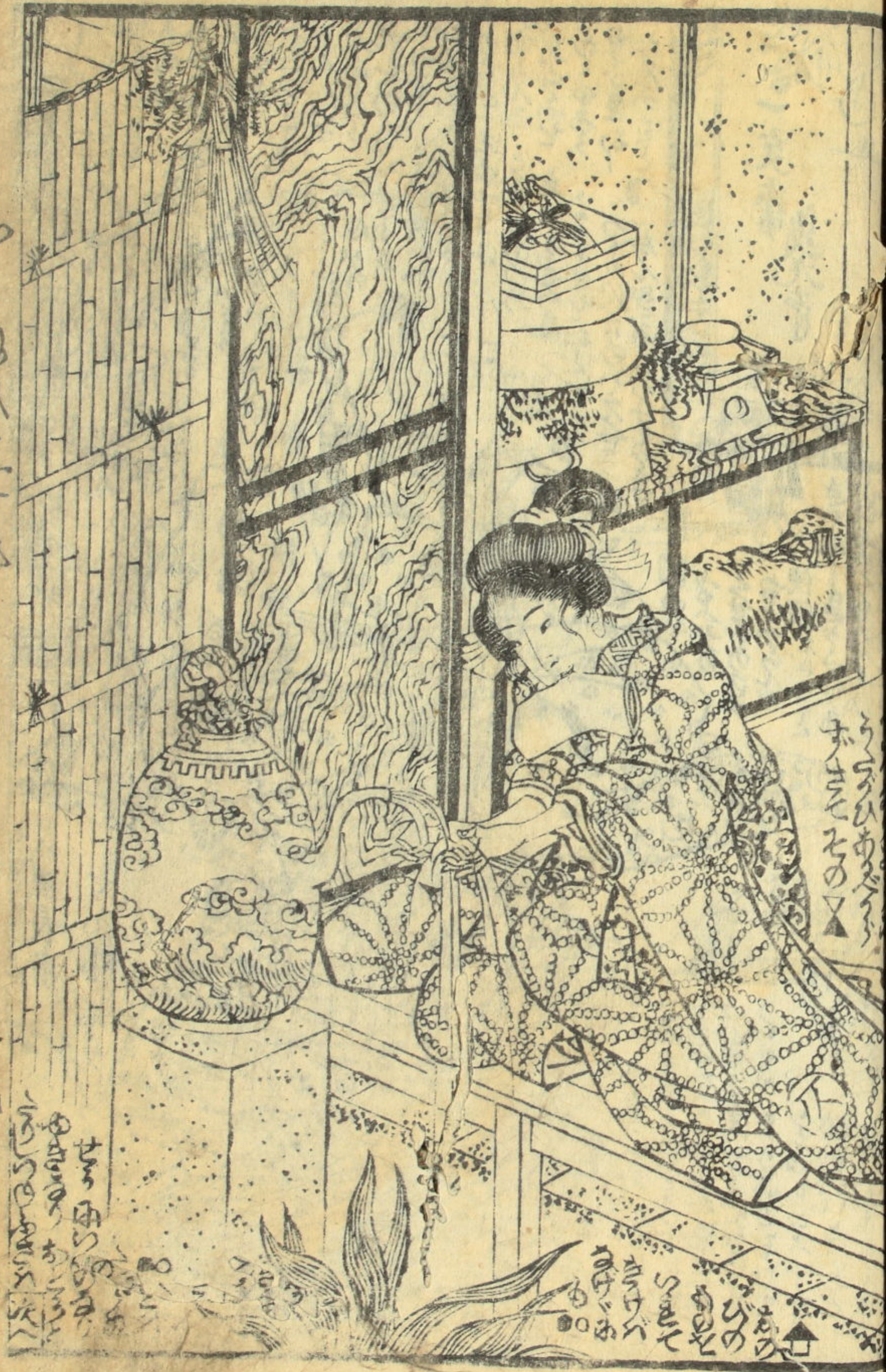
あまの月一がそらにまはりの
あまの月一がそらにまはりの
あまの月一がそらにまはりの

あまの月一がそらにまはりの
あまの月一がそらにまはりの
あまの月一がそらにまはりの

あまの月一がそらにまはりの
あまの月一がそらにまはりの
あまの月一がそらにまはりの

あまの月一がそらにまはりの
あまの月一がそらにまはりの
あまの月一がそらにまはりの

あまの月一がそらにまはりの
あまの月一がそらにまはりの
あまの月一がそらにまはりの

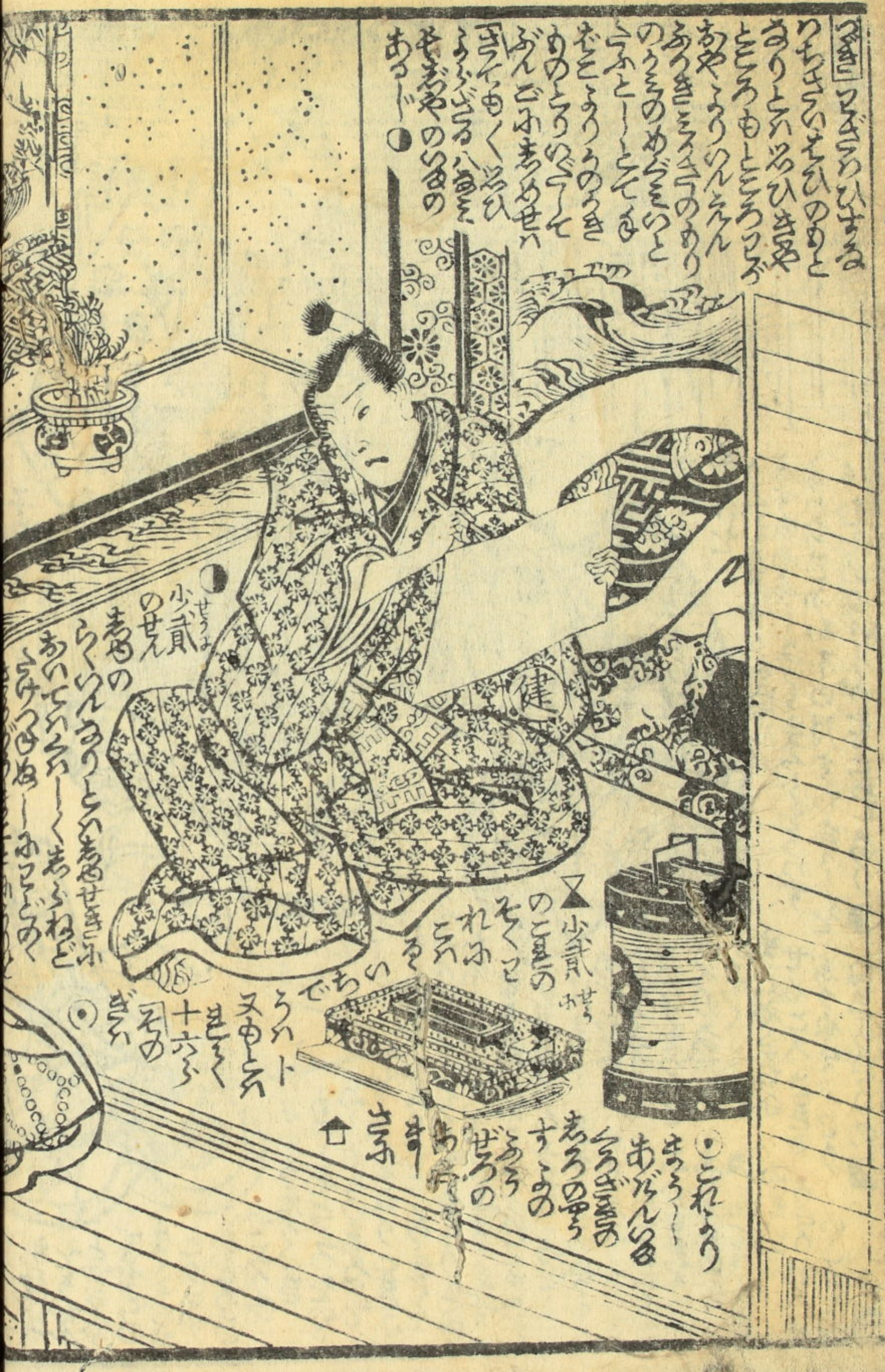


火の八五

乙

火の八五
乙

火の八五
乙



火の八五
乙

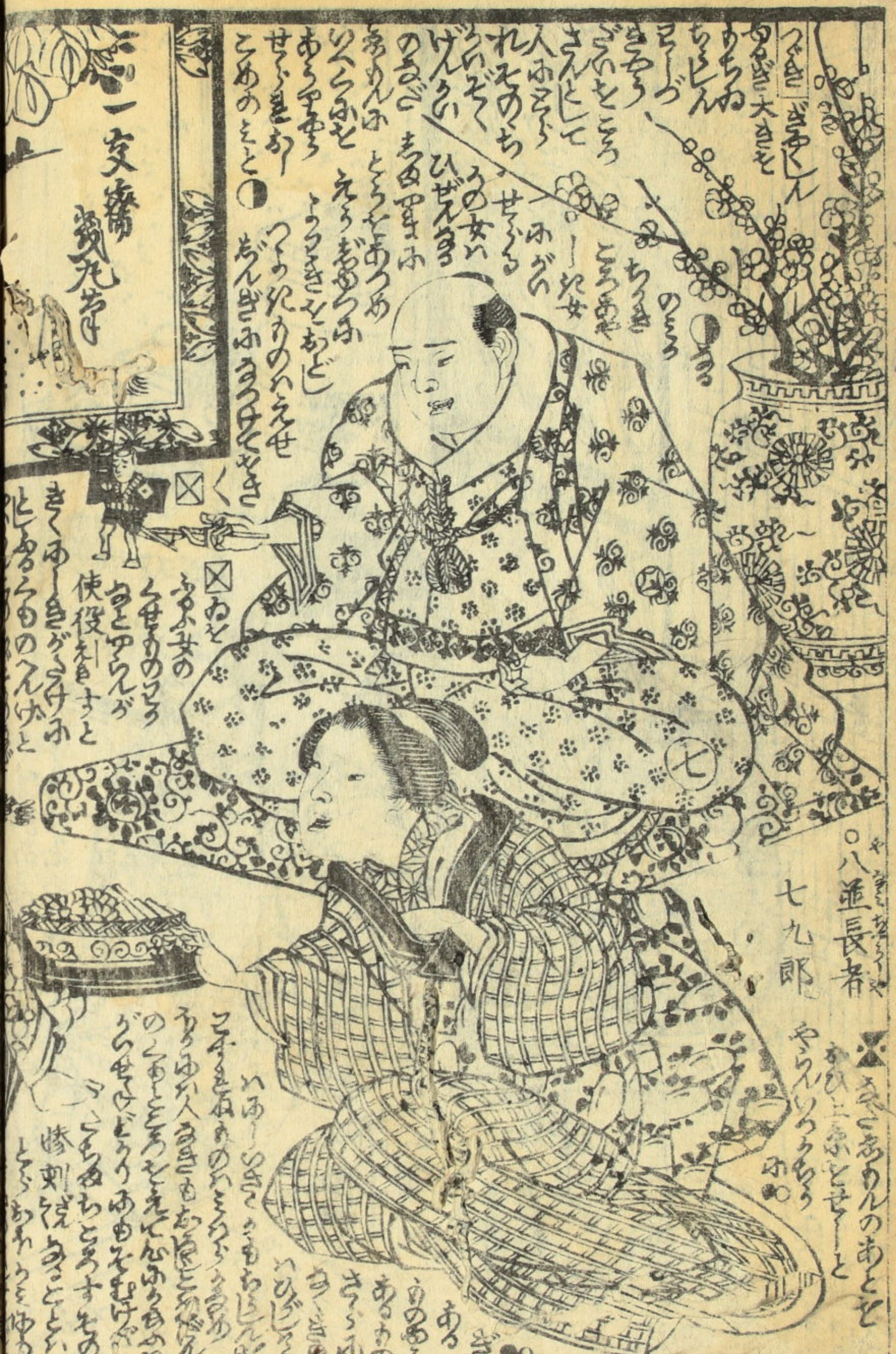
火の八五
乙

火の八五
乙

火の八五
乙

火の八五
乙

火の八五
乙



ついでに八五二

あつて四百人

一文斎 幾九郎

あつて四百人
ついでに八五二
あつて四百人
ついでに八五二
あつて四百人
ついでに八五二

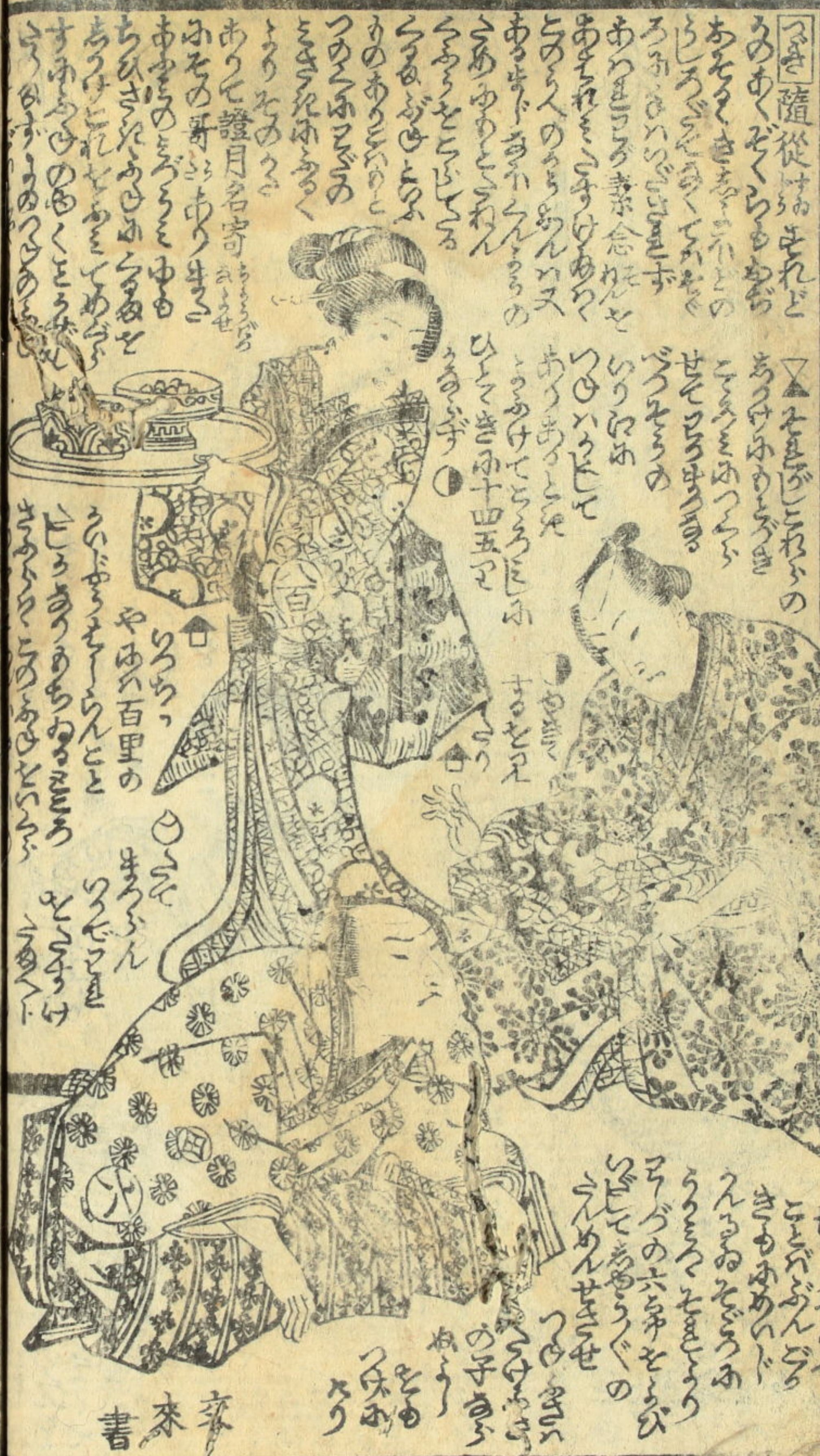
あつて四百人
ついでに八五二
あつて四百人
ついでに八五二
あつて四百人
ついでに八五二

あつて四百人
ついでに八五二
あつて四百人
ついでに八五二
あつて四百人
ついでに八五二

ついでに八五二

あつて四百人

種彦作 芳幾画



朝霞樓 芳幾画

浪裡黃金鯢

名譽の二長
楠木金輔
名譽の二長
松三太郎

三編 讀切

山々亭 有
惠齋 芳
松湖 交
假名垣 其
可竹 其
水 文
作

一、封男、塚山、因て、戲作、劇場、の、一、接、の、竹、林、の、七、軒、人、が、二、回、五、葉、と、持、き、り、の、
合、作、全、備、の、三、編、丹、
初、編、
初、丁、
其、水、作、同、
有、人、作、同、
交、來、作、
同、
如、泉、作、同、
二、編、
其、水、同、
有、人、
三、編、
子、魚、作、同、
如、泉、同、
魯、文、同、
其、水、如、斯、の、持、場、戲、
定、め、一、豆、亦、筆、力、を、ほ、く、し、浮、當、藏、板、の、あ、ら、ぬ、公、同、様、御、高、評、を、希、ふ、

北本草紙四卷

廣岡彦幸助梓

江戸深川 佐竹町

羅

六拾編上





白縫譚十六編叙

きて道学どうがくの申状まうじょうより孔子こうしの曰いわ六十ろくじゅう而して耳順じきんと云いふ
 此人このひと六十歳ろくじゅうさいのころにこれに人ひとが我われを譏あざわらむも耳みみの逆さかふ語ことばを聞きく
 ても人の分量ぶんりやうを料しやう知り我われ徳とく不ふ徳とくを省しやうせざるゑと腹はらの喜よろこび
 こそあり是こゝろ段たんと年としが寄よりて不見みえ強つよくするなるべし此この冊さつ子しも
 幸さいわい有ありて六十編ろくじゅうへんも至いたるにいつより長ながく續つづくが手て柄がらのあて次ついで
 第だい一いち味あじが淡たんくると誹そとられども美うまく作つくるぬも下した手て故ゆゑ世よに
 齡としさ六十ろくじゅうをこゝして老おいくし筆ふでさため七十編しちじゅうへんも暨あるが
 ぶんを物ものふちるものや心の欲ほむるところは隨したがひ一家言いけがことばといひ
 張はらん欲ほむること勸善懲惡くわんぜんちやうあくの矩かねを踰こむるをありえん

庚午孟春

柳亭種彦記

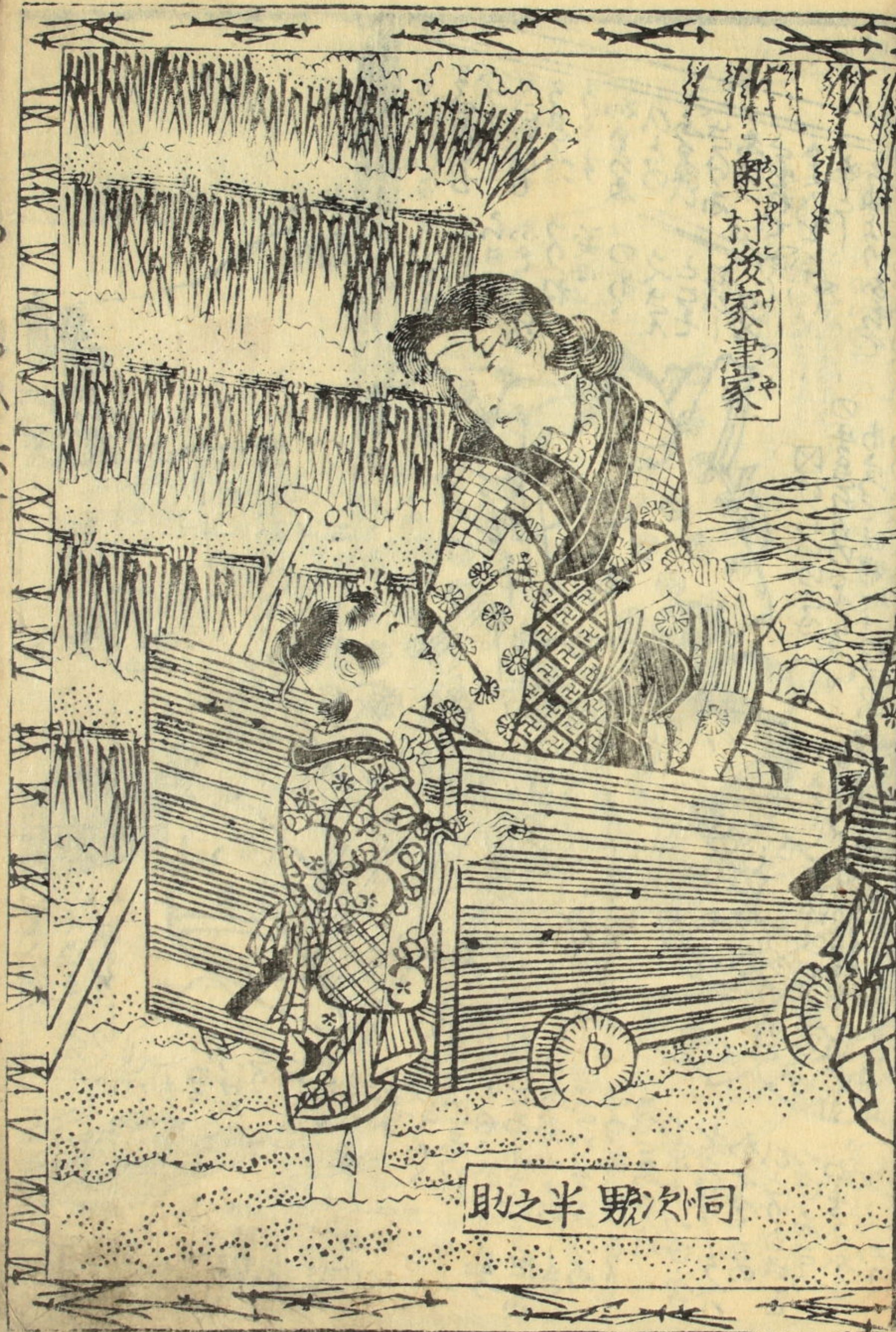


白縫譚

種彦作

芳幾畫

第六十編上



與村後家津家

助之半 駿次同



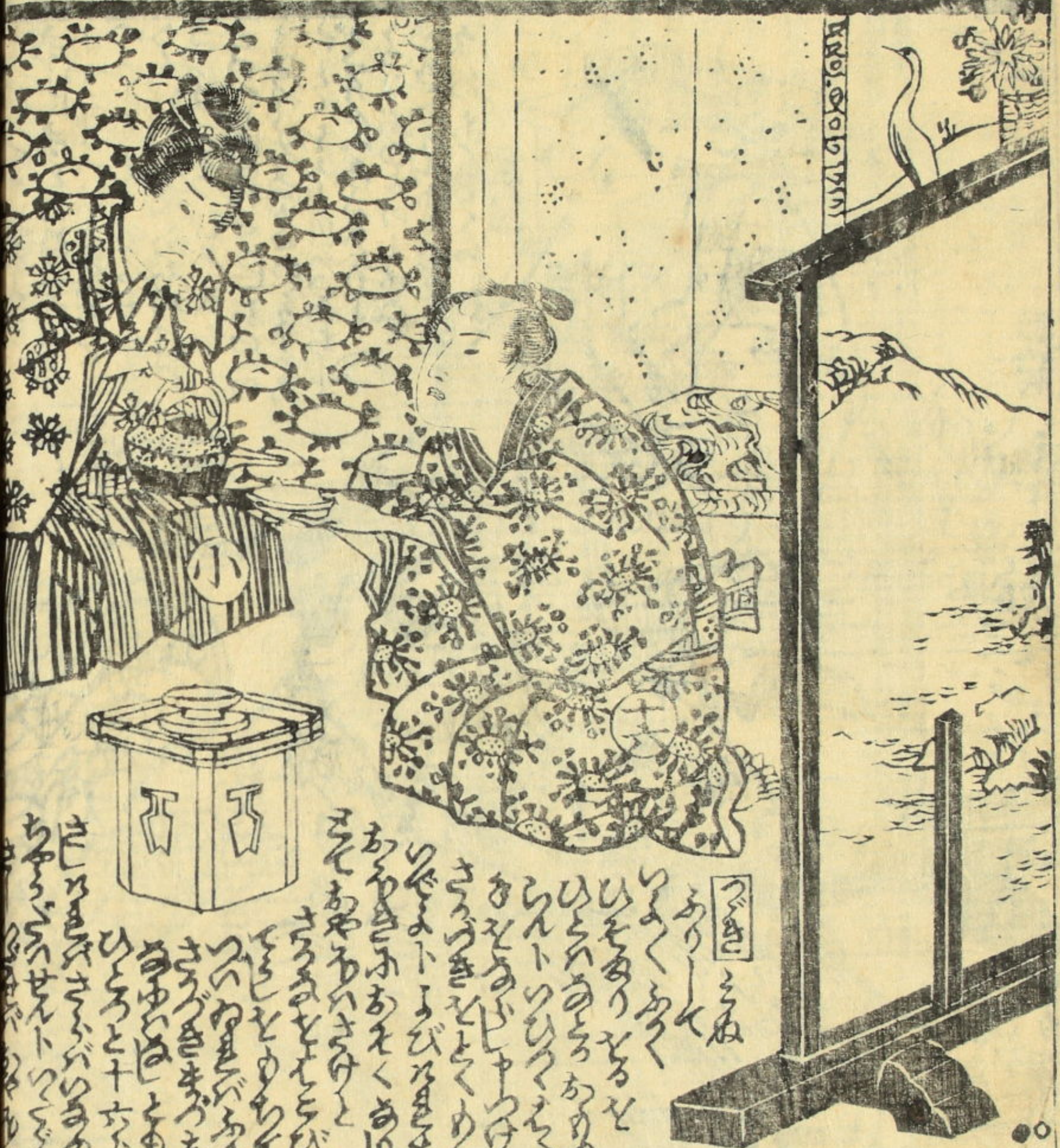
同 嬭子 滿太郎

秋作 妻照葉



二三四五
六七八九
十

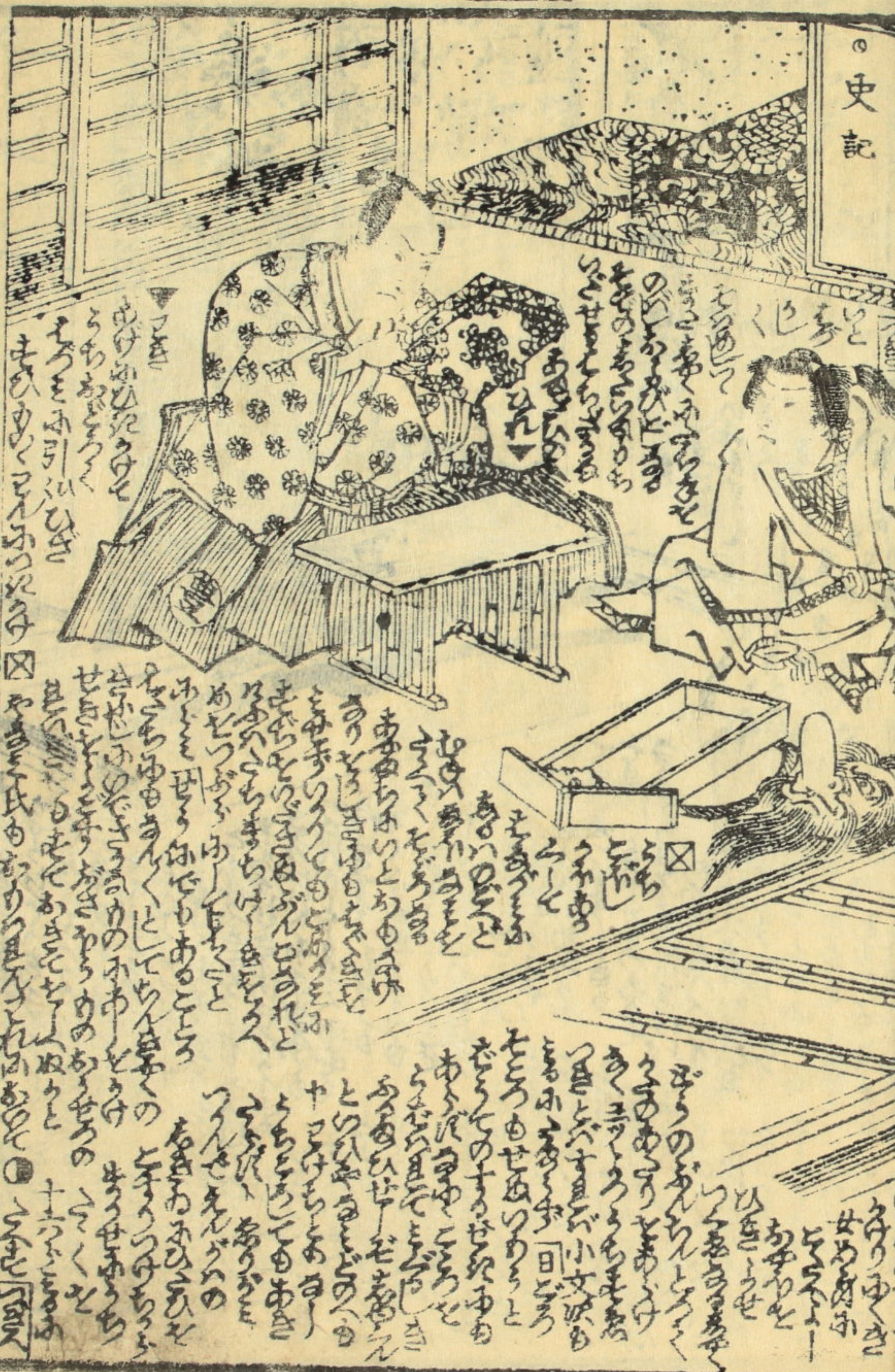
あつては...
あつては...
あつては...



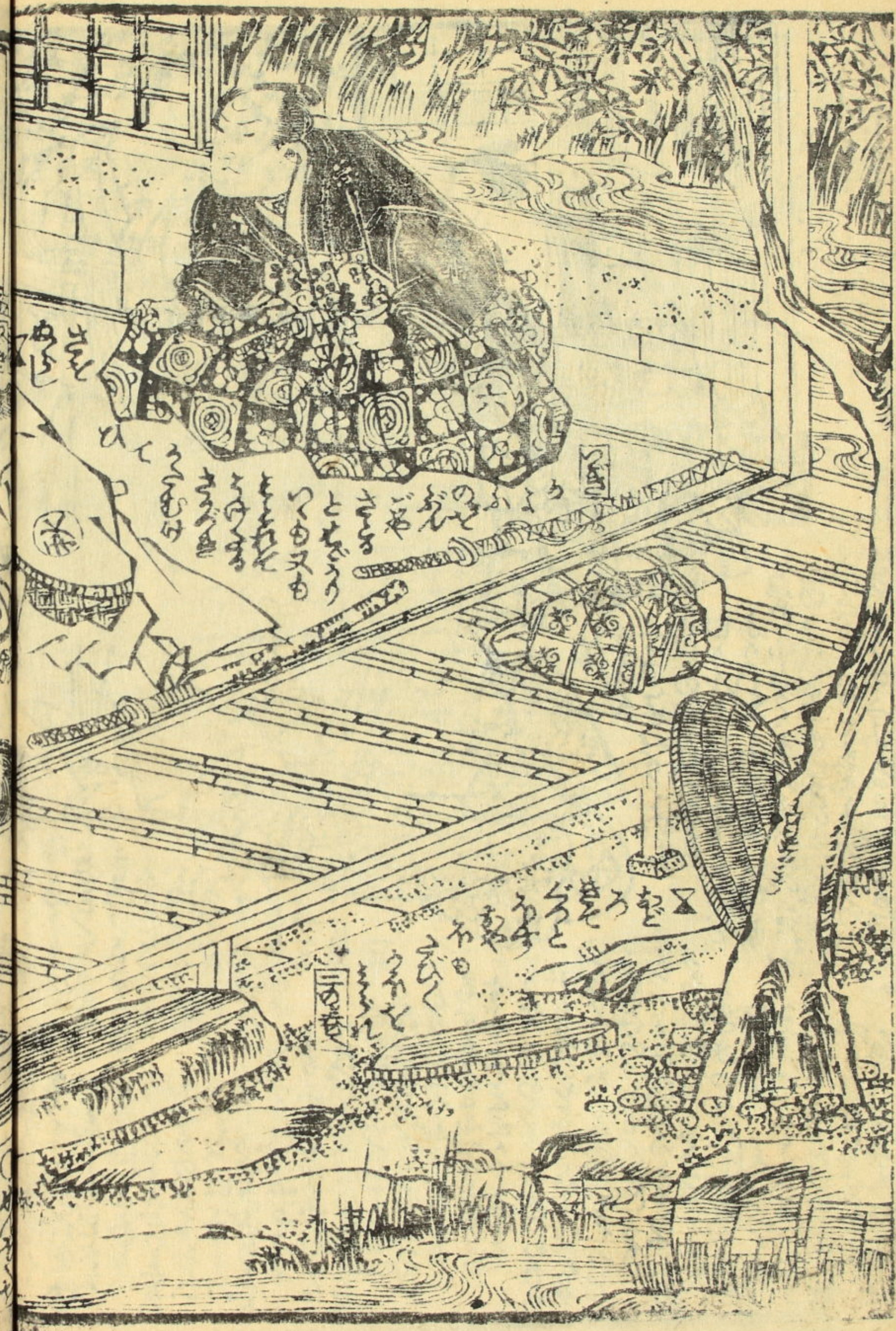
あつては...
あつては...
あつては...

あつては...
あつては...
あつては...

史記



あゝ八六十



あゝ八六十



Handwritten Japanese text in the upper left section, including the characters '白' (Shiro) and '娘' (Nyū), likely identifying a character or scene.

Handwritten Japanese text in the lower left section, continuing the narrative or providing commentary on the scene.

Handwritten Japanese text in the upper right section, positioned above the window and the seated woman.

Handwritten Japanese text in the lower right section, continuing the narrative or providing commentary on the scene.

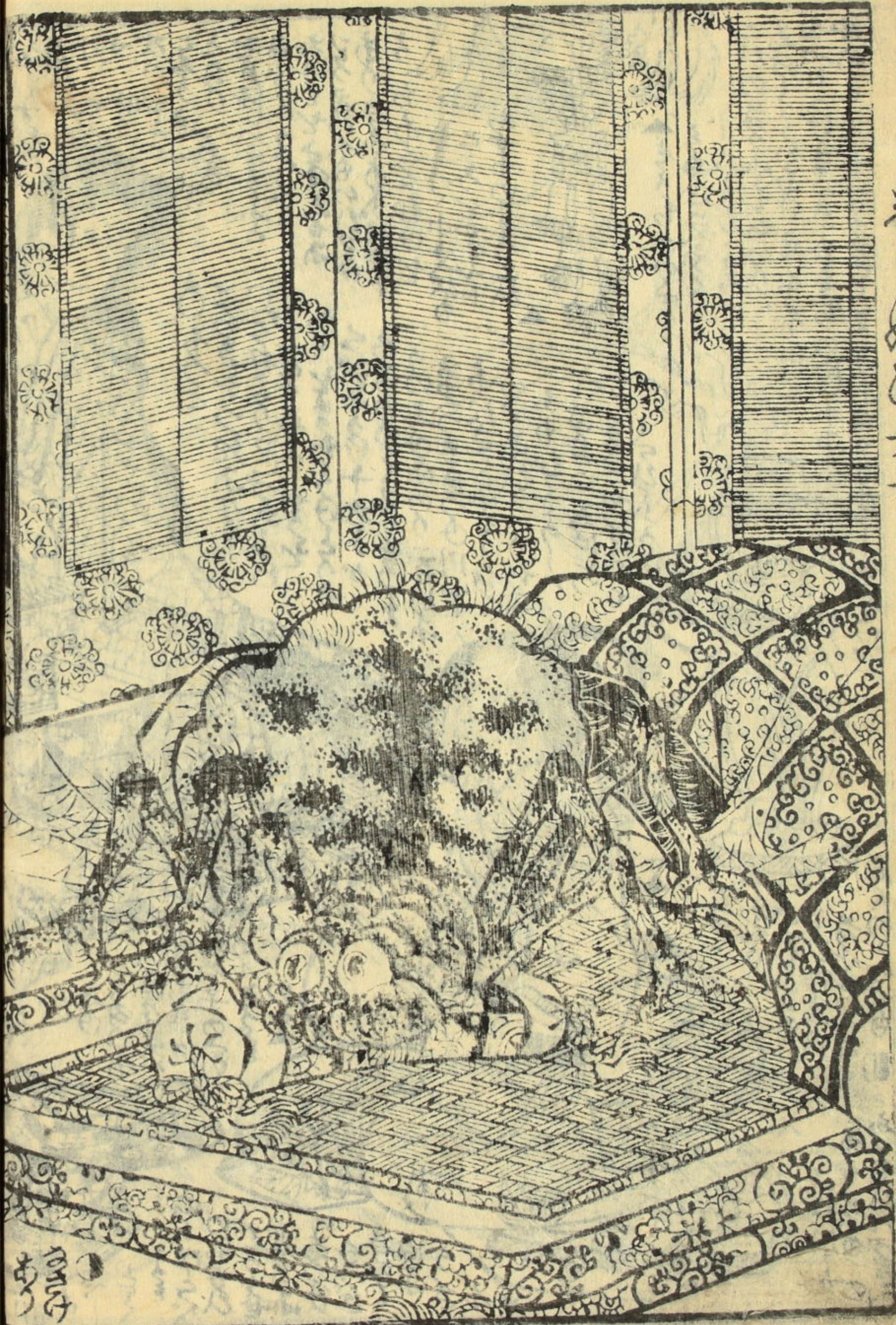


Handwritten text in a vertical column at the top left of the left page, likely a preface or introductory text.

Handwritten text in a vertical column on the left side of the page, describing the scene or characters.



Handwritten text at the bottom left of the page, continuing the narrative or providing commentary.



Vertical text on the right edge of the right page, possibly a title or page number.

Small handwritten text at the bottom right of the right page.

種彦作 芳幾画



志ぬひ禪

古今類聚 卷之五 志ぬひ禪

兩面織花田物語

初編 五編 通

作

假名湊八犬傳

假名湊 八犬傳 朝露 朝露 朝露

古今 似顔大全

故豊國 材華下 大錦 日二番

太平記英勇傳

中 錦山々 享有人 記 百番 續 惠齋 芳幾 圖

女

藻野

語

柳亭種彦作

朝霞樓芳幾画

己初冬

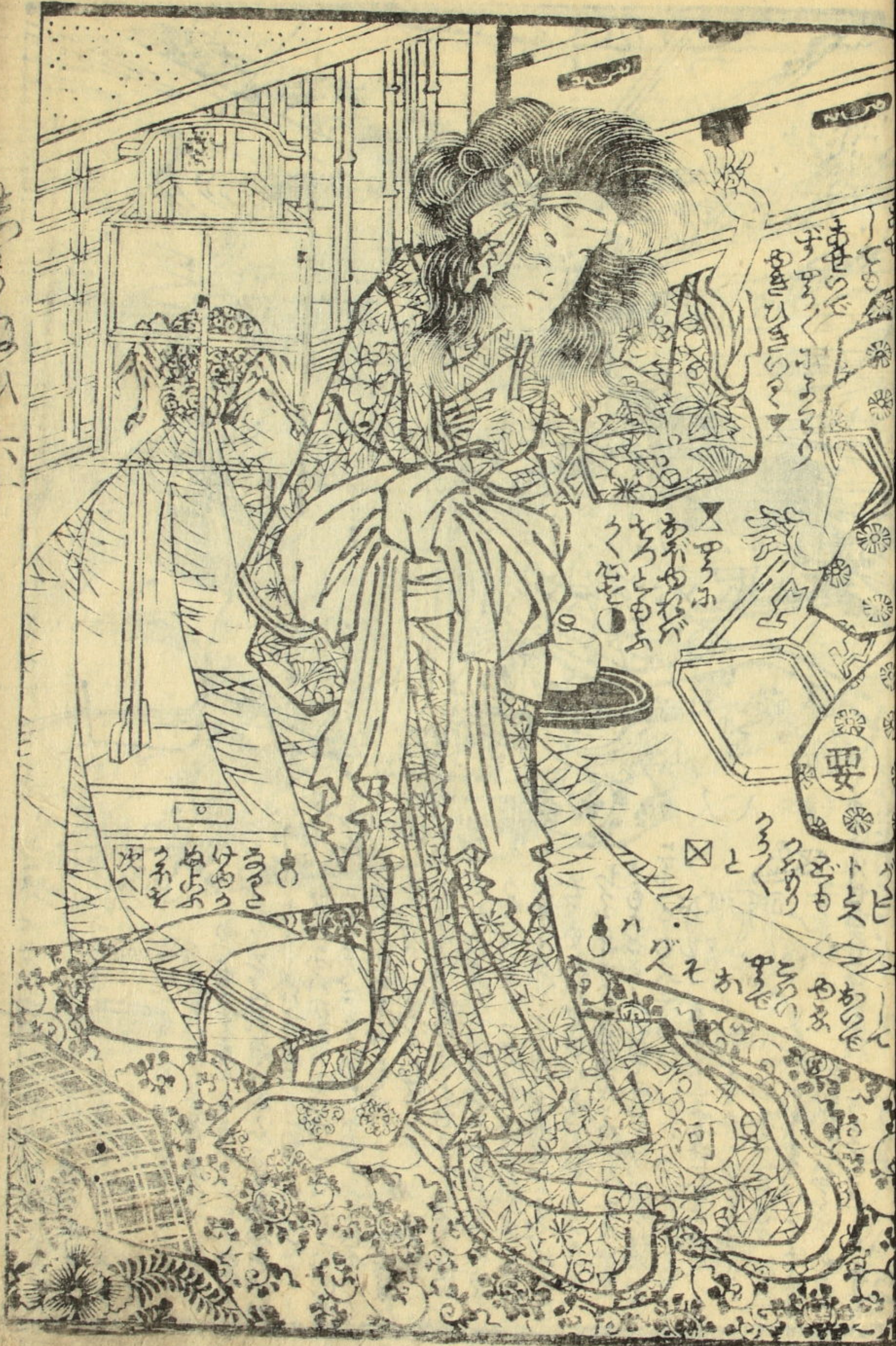
發兌



下編十六







Vertical text on the left margin of the first page.

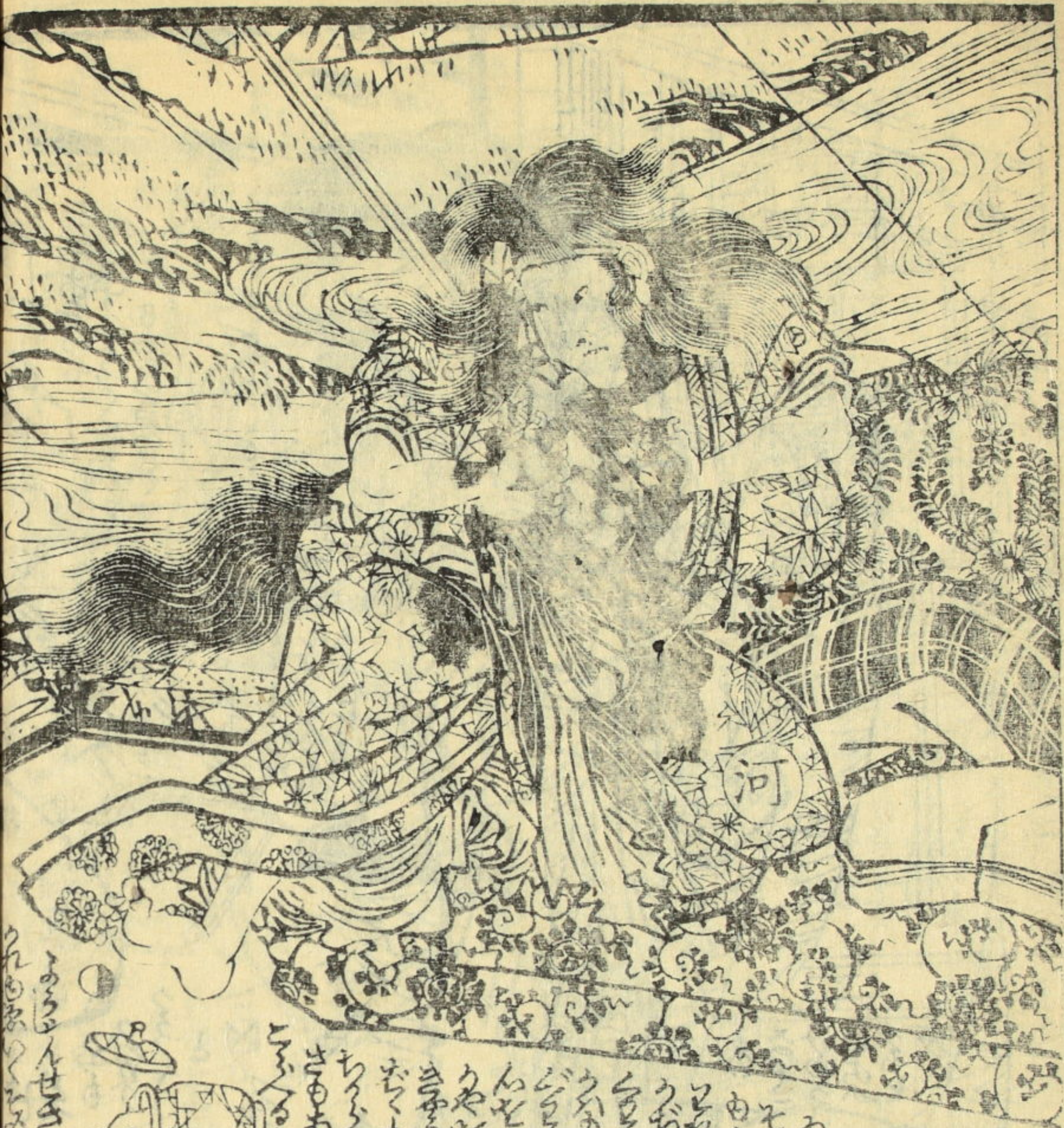
Annotations in Japanese characters scattered throughout the illustration on the first page.



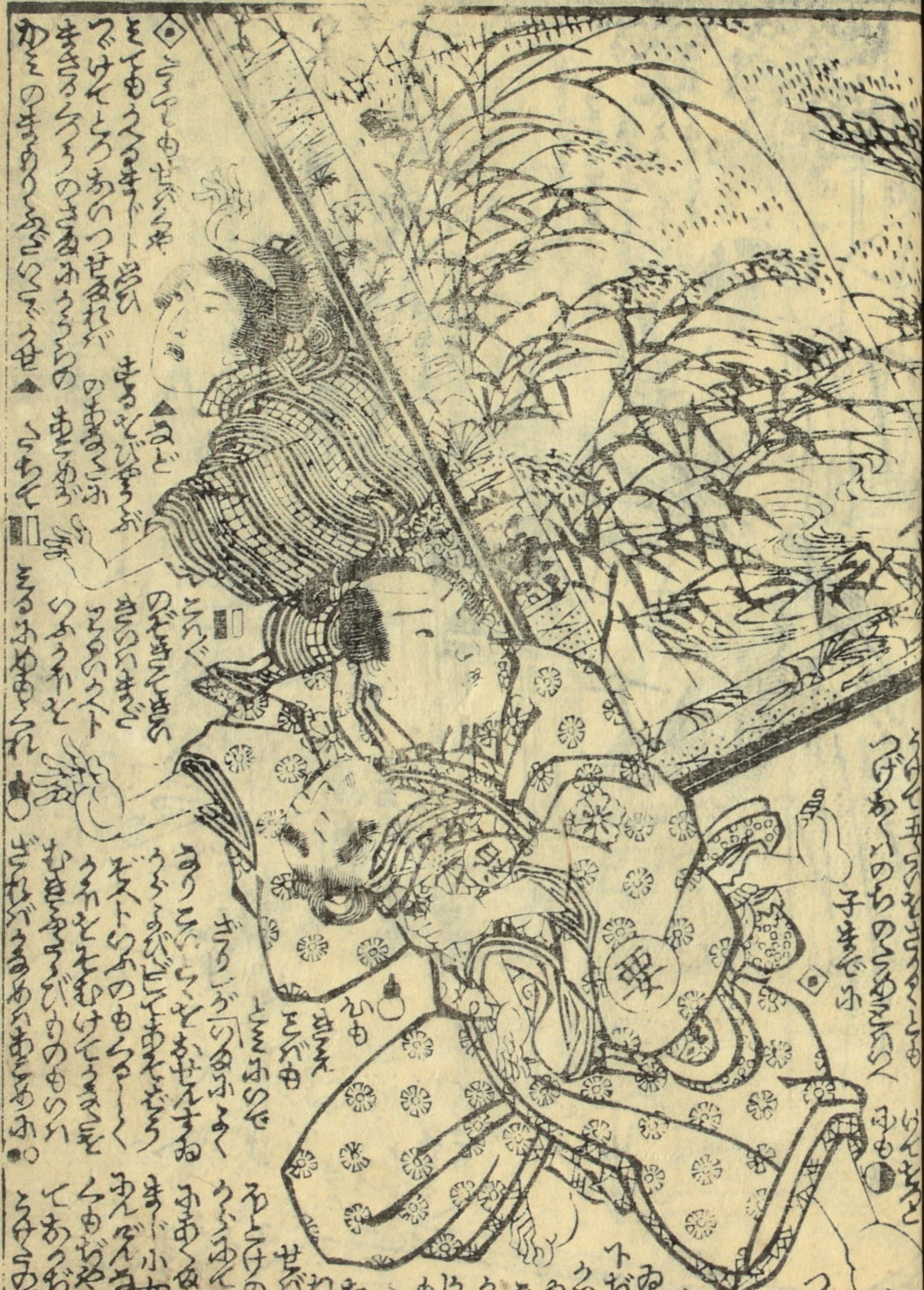
Vertical text on the left margin of the second page.

Annotations in Japanese characters scattered throughout the illustration on the second page.

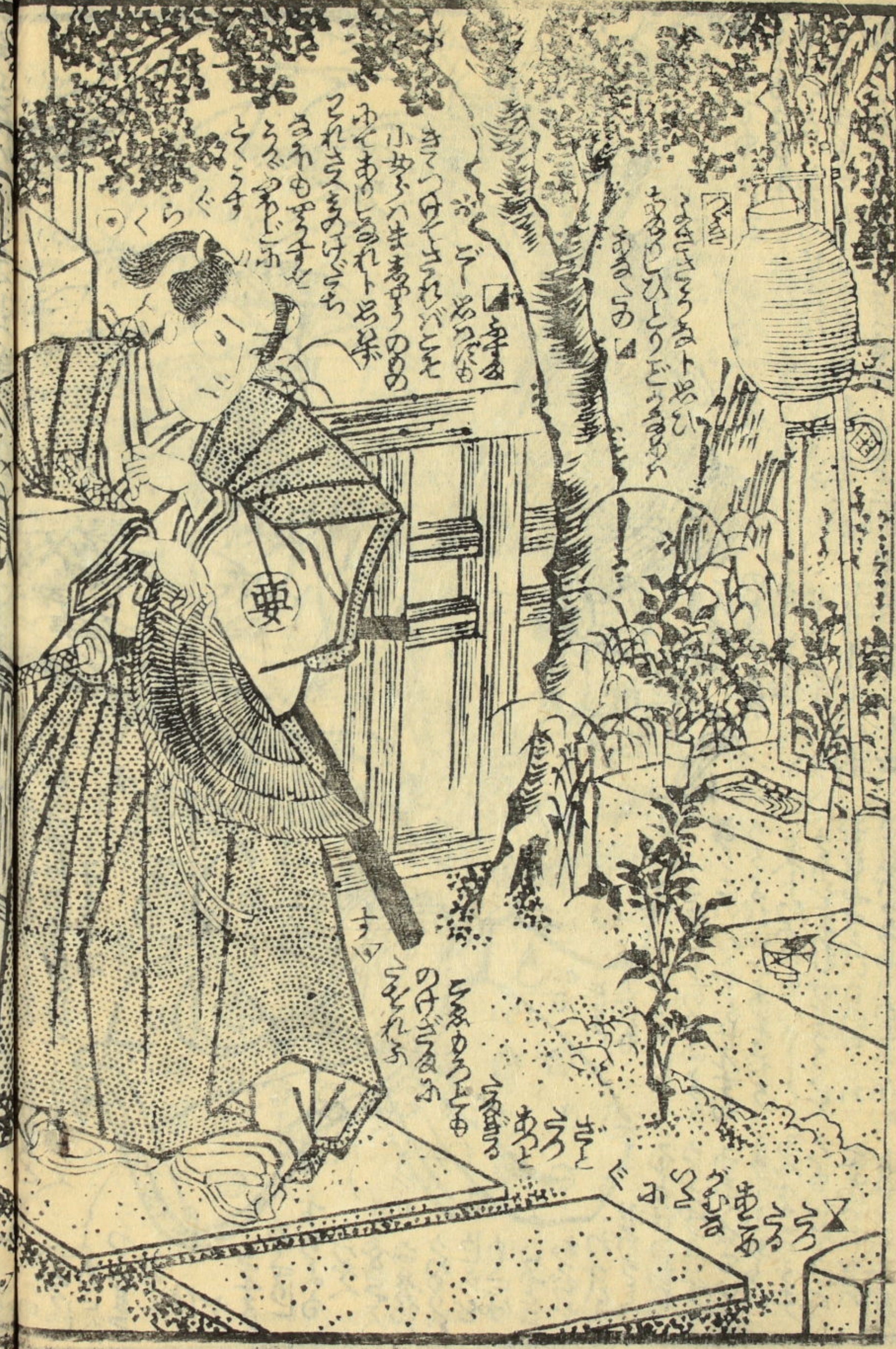
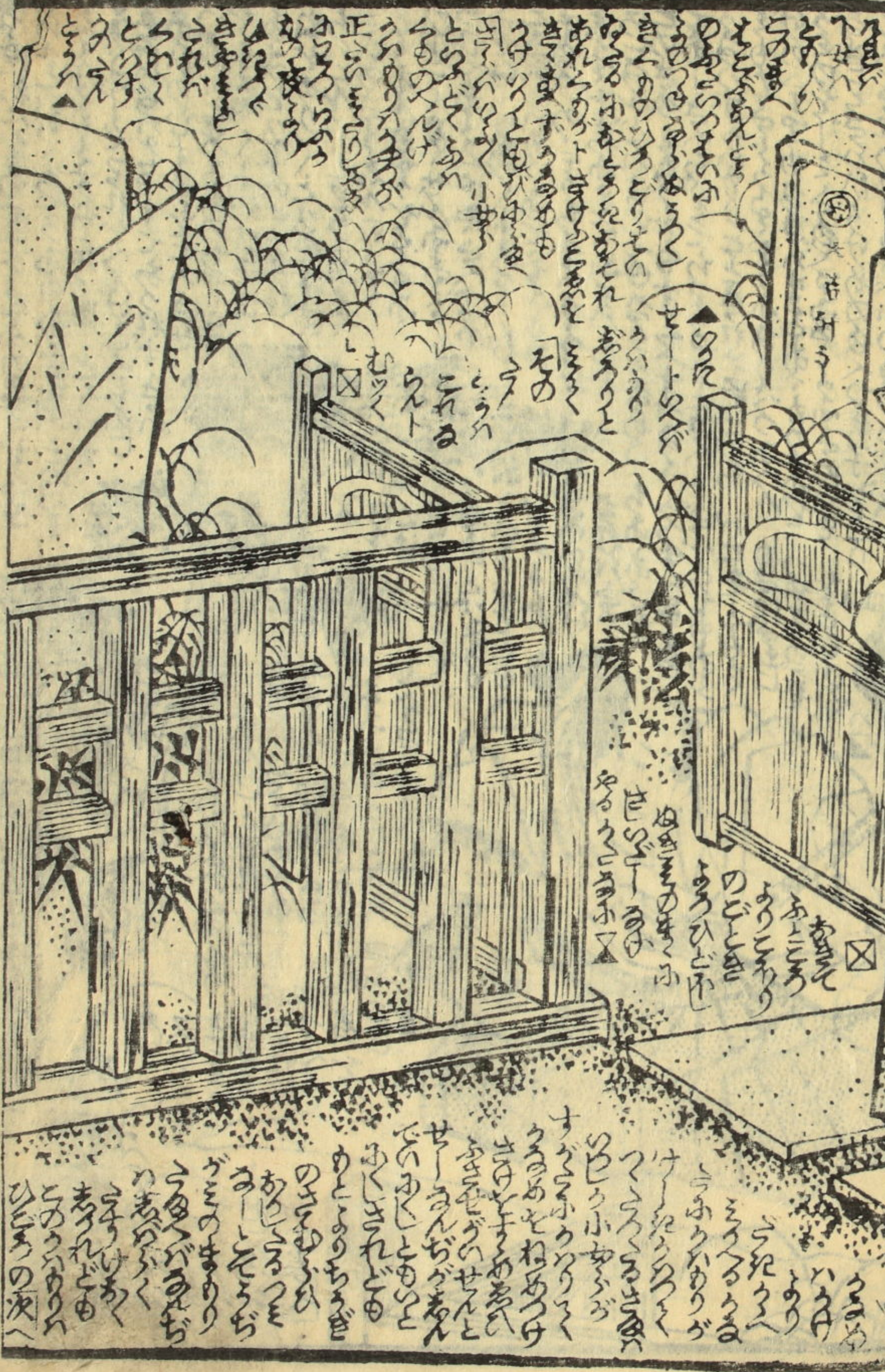
Vertical text on the right margin of the second page.



此のくさねのてらに
 あつたてのてらに
 河
 此のくさねのてらに
 あつたてのてらに
 河



此のくさねのてらに
 あつたてのてらに
 河





Handwritten Japanese text in vertical columns, located at the top left of the illustration. The text is dense and appears to be a continuation of a story or a list of items related to the scene.

Handwritten Japanese text in vertical columns, located in the middle left of the illustration. This section continues the narrative or provides further details about the characters and their actions.

Handwritten Japanese text in vertical columns, located in the bottom left of the illustration. The text is more sparse than the previous sections, possibly concluding a paragraph or describing specific elements of the scene.

Handwritten Japanese text in vertical columns, located at the very bottom left of the illustration. This text may be a separate note or a reference to the overall theme of the book.

Handwritten Japanese text in vertical columns, located at the top right of the illustration. This text likely describes the setting or the initial actions of the characters in the scene.

Handwritten Japanese text in vertical columns, located in the middle right of the illustration. This section provides a detailed account of the central figure's movements and the surrounding environment.

Handwritten Japanese text in vertical columns, located in the bottom right of the illustration. This text may focus on the seated figure and their role in the depicted scene.

Handwritten Japanese text in vertical columns, located at the very bottom right of the illustration. This text could be a final note or a reference to the book's title or author.

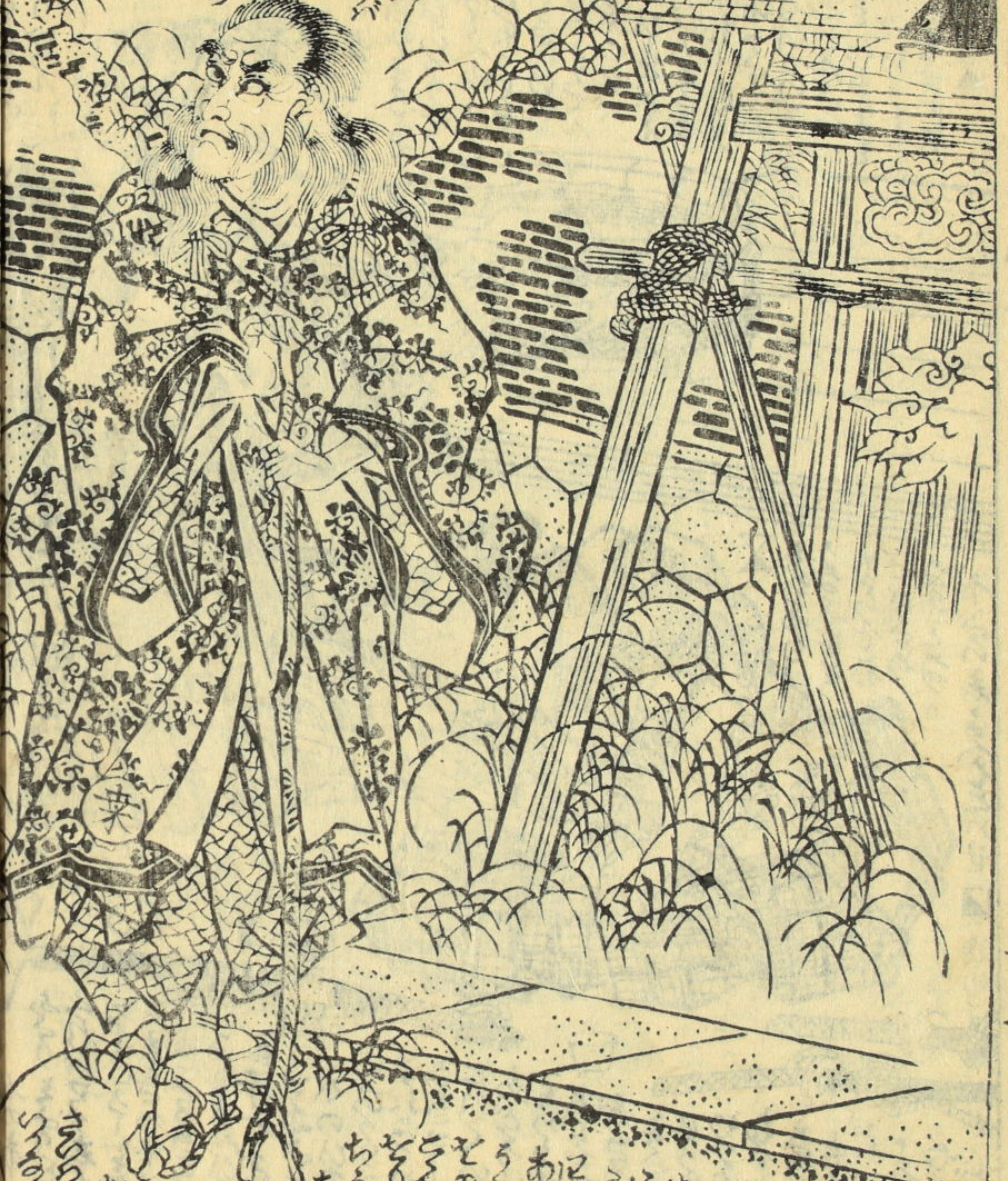


Handwritten Japanese text in the upper left section of the left page, including a circled character '○'.

Handwritten Japanese text in the middle section of the left page, including a circled character '○'.

Handwritten Japanese text in the lower section of the left page, including a circled character '○'.

Handwritten Japanese text in the upper right section of the right page, including a circled character '○'.



Handwritten Japanese text in the lower right section of the right page, including a circled character '○'.



Handwritten text in the upper left corner of the left page, likely a title or introductory text.

Handwritten text in the lower left and bottom center of the left page, providing a narrative or commentary on the scene.



Handwritten text in the upper right corner of the right page, likely a title or introductory text.

Handwritten text in the lower right and bottom center of the right page, providing a narrative or commentary on the scene.



